

市 政 報 告

神戸市会議員
(須磨区)

松本しゅうじ (周二)

ごあいさつ

謹啓 皆様にはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

平素より格別のご厚情を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本初の女性・高市早苗内閣総理大臣が誕生し、「責任ある積極財政」によって危機管理投資や成長投資を回り、強い経済を構築するとされ、物価高対策の一つとしてガソリン減税を実施、4月には軽油引取税の暫定税率も廃止予定であり、物流をはじめ神戸経済活性化の好循環に繋がるものと存じます。更に最も重要な外交・防衛安全保障に於ける国家機能の強化についても、高市新政権に大いに期待をしています。

さて、昨年は令和7年定例決算市会・9月議会が9月・10月と行われ、令和6年度神戸市一般会計決算は、社会保障関係費や投資的経費が増加した一方で法人市民税の増・固定資産税の増加など「神戸市行財政改革2025」に基づく取り組みで実質収支は14億1100万円の黒字。企業会計決算においても25億円の黒字を計上しておりますが、(神戸市バスは7600万円の赤字・市営地下鉄は21億円の赤字)となっています。今後の人口減少や少子超高齢化社会での社会保障費関係の増大を見込むと神戸市財政状況は依然として厳しく、企業誘致や官から民への民間委託推進・事務事業の見直し・行財政改革等々一層推進しなければなりません。

又、自民党神戸市会議員団・無所属の会として本会議で代表質問し、「将来を見据えた積極投資について」、「神戸空港の地方路線ネットワーク拡充について」、「マギーズ東京の神戸誘致による、がん患者の相談支援体制の拡充について」、「学校給食に於ける有機農業の推進について」など政策提言・要望を行いました。

更に、決算特別委員会では、「英会話教育の在り方・コミュニケーション能力の推進について」、「中学校の修学旅行に於ける平和学習について・鹿児島県・知覧特攻平和会館を積極的に推進すべき」、「コベカツによる中学校部活動の地域展開におけるデメリットの克服・解消策について」、「学校給食のオーガニック食材使用による食育推進」など、要望を含めた政策提言を行いました。

今後も、産業労働人口の減少と少子超高齢化が進行する中、人材不足・物価高・燃料高騰・為替による影響等々、先行き不透明なグローバル時代の神戸経済は外的要因によって一層予断を許さない状況下となっています。

本年も、神戸空港の国際化推進・地方路線拡充をはじめ、地元企業への支援施策、地域医療・救急医療施策の支援強化、地場産業・市場・商業への支援施策の拡充、高齢者福祉施策の拡充、国際都市にふさわしい英会話教育推進による青少年の国際化育成、農水産業による地産地消の振興施策、更には子育て支援施策の拡充等々、安心して家庭が持てる神戸にする為に引き続き住民主体の立場で多くの課題解決に向け鋭意取り組んで参ります。

今後も震災復興議員として初心忘れず、神戸・須磨の為に住民主体の市政を貫き「須磨に生まれ、育ち、須磨に尽くす!」「明るく・元気に!」をモットーに地元出身のクリーンな市会議員としてその責任の重大さを認識しつつ鋭意努力して参ります。

尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<ご家族皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。>



本会議で代表質問する松本しゅうじ市議員

主な経歴

- 現在・港湾経済委員会
- 法務大臣表彰受賞
- 兵庫県自治功労者表彰
- 神戸市スポーツ功労者表彰
- 兵庫県軟式野球連盟副会長
- 神戸軟式野球協会会長
- 神戸市スポーツ協会評議員
- 少林寺拳法神戸連合会副会長
- 法務省須磨区保護司
- (社)くすの木保育園理事
- 神戸市茶花道会顧問
- 神戸ユネスコ協会顧問
- etc
- 神戸市監査委員
- 大都市行財政特別委員長
- 港湾交通委員長
- 文教経済委員長
- 福祉環境委員長

自由民主党兵庫県連合会副会長
自由民主党神戸市連総務会長

神戸市会議員 **松本 しゅうじ** (周二)

国要望



関義弘衆院議員に地元要望する(国会事務所に)



西田昌司参院議員と共に積極財政推進を!

神戸港活性化



国土交通省と神戸港関係者に海上コンテナ部会長・役員皆様と共に要望する(国土交通省にて)

国際化



世界港湾会議2025に参加する松本市議員・世界各国の港湾関係者がDX・GX・港湾物流の未来等を議論・関係者と共に(Hオークラ)

海上安全対策



全国のシーバードJapanの拠点の一つが須磨ヨットハーバーに設立。水上オートバイを活用した海域救難や海洋スポーツ等による地域貢献・青少年育成に取り組む(ヤマハ・藤田忠久代表取締役と共に)

地方路線拡充



神戸空港と徳之島空港との路線拡充について、神戸奄美会長・國元正俊さん・徳之島天城町副町長さん皆様と共に神戸空港担当局長に要望する(市会にて)

防衛



神戸港初入港USS WARRIOR掃海艇に乗船視察・米海軍将校の皆様と共に

海上自衛隊艦上レセプションにて海将補渡辺浩司令官と共に(阪神基地隊)

ご相談・問い合わせ先

■事務所 〒654-0049 神戸市須磨区若宮町3-2-2 TEL (078) 795-9069 FAX (078) 795-9090

神戸市会議員

松本しゅうじ (周二)



令和7年第2回定例市会で代表質問する松本しゅうじ市議(一部抜粋)



本会議で再質問する松本市議

令和6年度決算を踏まえた積極投資について

質 令和6年度決算については引き続き財政対策によるとなす。令和6年度決算の黒字を確保するとともに、企業価値の向上を図るため、法人市民の増加により、3年連続で過去最高の税収を確保できた。一方、人口減少の傾向が顕著となる中、持続可能な都市経営を行うためには、単年度収支の均衡を前提としながらも、緊縮財政によることなく、将来を見据えた積極的な投資を行い、民間投資を呼び込む好循環をさらに拡大することが不可欠であります。一時的な財政指標の悪化を恐れることなく、市政の継続性を維持しながら、これまで以上に積極的な投資についていきたいと思います。見解を伺います。

答

久元市長 今後、人口減少時代に対応し、持続可能な大都市経営を実現していくためには、外的要因に左右されない強い財政基盤の確立が必要です。そのためには都心・三宮再整備や駅前のリノベーションなど、都市の成長やまちの魅力向上につながるプロジェクトを推進し、民間投資を呼び込み、域内経済の拡大や市民所得の向上につなげ、成長の果実をさらなる成長に投資していく好循環を生み出していくべきと考えますが、見解を伺います。

がん患者支援にマザーズ東京にて



センター会長の秋山さんと中間の金谷さんと共に、奥に(左から)マザーズ東京の代表と神戸経済の代表と交歓する松本市議と伊藤議員(マザーズ東京にて)

要望実現①



通学路安全対策として白川台千原橋の改修を実現

要望実現②



中塚中央公園の安全対策としてフェンス設置を実現。花谷少年野球部西村部長さんと選手たち

神戸空港の地方路線拡充について

質 関西空港連絡会の合意により2025年の国際チャーター便が就航し、搭乗率が80%を超え非常に好調な運航状況と聞いており、国際化に伴い、神戸空港の役割拡大に対する期待が本市内外問わず、高まっている。一方で、同合意により国内線発着枠が120便へ拡大されたが、また開港の余地がある状況であります。そこで2033年前後の国際定期便の就航、その後の定着を見据えて日本の地方空港と連携を深めるべきではないか。既に全国12都市に就航しているところであるが、国内線ネットワークのさらなる拡充、強化を戦略的に図り、地方空港とつながることが神戸と地方空港の双方の発展を促していくべきと考えますが、見解を伺います。

答

久元市長 神戸空港の地方路線の拡充につきましては神戸空港の国内線の発着枠が拡大し、FRAやTOKエアが加わり、国内12都市に就航するなど、国内航空ネットワークの強化を進めてきた。地方空港との連携は御指摘のとおり非常に重要だと考えており、羽田空港の現在の状況を考えれば、羽田便を増設するということはかなり困難でありまして、地方空港への就航を増やしていく

がん患者の相談支援体制の充実について

質 今や2人に1人ががんとなり、癌と共に生きる時代と言われ、治療とともに日々の暮らしや仕事など、両面からのサポートが必要となっています。令和3年12月の一般質問において、がん患者の相談体制の拡充策として、マザーズ東京の神戸への誘致を提案いたしました。イギリス発祥で認定NPO法人により運営されるマザーズ東京は、がん患者や家族をはじめ、がんに影響を受ける全ての人が気軽に立ち寄り、スタッフが話を傾聴することで自分なりの解決策を見出すことに繋がっています。当時、今市副市長からは、良薬のある活動であり、設置場所について相談に応じてまいりたいという旨の回答がありました。整備済地の模索や運営面の相談を重ねてまいりました。活動も全面的再開となり、神戸への進出のめどが立ってきても、活動も致意に向けて一歩踏み出すべきと考えますが、見解を伺います。

答

今副市長 私のほうから、がん患者の相談支援体制の充実、マザーズについては平成28年にイギリスで設置されたがん患者相談支援施設で国内では平成28年10月に東京駅に国内唯一の施設としてマザーズ東京が設置されているところですが、がん患者や家族や家族等サポートを行っておりまして、運営主体は特定非営利法人でありまして、収入は主に寄付金によって賄われていると伺っています。がん患者や家族が気軽に立ち寄り相談ができるがん患者支援として意義のある活動だと理解をされているところと伺います。

令和7年12月の本会議におきまして、先方の御希望があれば土地の提供については有償になりますが、マザーズの財政見直しを踏まえ御検討いただいたところと伺います。その後、令和6年度にはマザーズ東京の方がポートアイランドの公園を視察されたところと伺います。その際、決算状況や職員体制、収支見込みなどについて伺います。

学校給食における有機農業の推進について

質 国はみどりの食料システム戦略において、2050年までに有機農業の取組面積を全体の耕地面積の25%までに拡大することを掲げ、有機農業に地域ぐるみで取り組む有機農業を推進する方針を公表したことから、学校給食に地元産のオーガニック食材の導入を積極的に進めることは、地域農業の活性化につながり、食育の観点からも大きな意義を持つと考えております。現在の本市の学校給食におけるオーガニック食材の使用状況はどうか、また、今後段階的に市内のオーガニック食材の導入を進めていくべきと考えますが、見解を伺います。

答

稲本教育長 学校給食における有機農業の推進について、現状の取組ですが、市内のオーガニック食材を学校給食で使用することは、農業振興への寄与をはじめ地産地消の推進や環境教育、SDGsの観点からも意義があるものと考えております。そのため、本市の学校給食で使用する食材については、米飯は市内産米を使用するとともに、できる限り化学肥料を使わずに作られたBEE KOBEE産物をはじめとした市内産野菜等を優先して使用しているところと伺います。オーガニック食材の学校給食での使用については、令和6年度はKOBEEオーガニック推進協議会が策定した神戸市有機農業推進実施計画に基づき、学校給食における有機農産物の導入の可能性を探索するため、12月1月に市内の有機農業で生産されたニンジンを生産者から試食に使用したところと伺います。ただ、オーガニック食材については、市場に一般的に流通している状況にはなく、市内の有機農業の取組面積の割合は約0.6%と僅かであり、給食に使用するには現時点においては量の確保面で課題があると考えております。今後の展開ですが、令和7年度については有機栽培されたニンジンの導入を増やす計画としており、12月頃の使用に向けて生産を開始しております。学校給食でのオーガニック食材の使用に当たり、量の確保の面は課題でありまして、引き続き市長部局や学校給食会をはじめ、市場関係者等の関係団体と情報共有しながら、できることから連携をしながら進めていきたいと考えております。

令和7年 9月市会決算特別委員会で質問する松本しゅうじ市議(一部抜粋)

コンテナターミナルの荷役効率化と生産性の向上について

港開港産業の人手不足への対応として、コンテナターミナルの荷役の効率化と生産性の向上を進めることは、限られた人員でも安定した運用を可能とする有効な取り組みであると考えます。

例えば、名古屋港では、コンテナターミナルの運用体制が本市とは大きく異なるものの、全国的にも先進的な取り組みが進められており、すべてのコンテナターミナルを一元的に管理するシステムの導入など、最新技術を活用した効率化の取組が進められています。

神戸港においては、令和6年度にポート・インランド・ロジスティクス・センターにおいて新・港湾情報システム「CONPASS」の本格運用が開始され、今後、他のターミナルにも導入を拡大する等、段階的にコンテナターミナルの荷役効率化、生産性の向上につながる取組が展開されているところであるが、こうした新技術の導入を評価・検証しながら、効率化、生産性の向上につながる施策を進めていくことが重要であると考えますが、見解を伺います。

長谷川港務局長

CONPASSはPC18で初めて運用を開始しましたが、利用者からの評価として、クレーン受付け時にロスがなくなったことやCONPASS端末上に迅速に情報を伝送できるようになったことなどがあり、利用者の利便性やコンテナ物流の効率化につながったとの評価があり、神戸港全体に広がって大きな効果を発揮できるものだと考えています。

今年度中に導入予定のC14に引き続き、利用促進のための支援や、ユーザー要望に応じた利便性の高いシステムへの機能的な改良など、関係者の議論を重ねながら、国や関係団体の連携のもとに取り組むCONPASS以外の新しい取組も、PC14の再整備に合わせ、荷役機械(RTG)の遠隔操作化を進めているほか、ターミナルオペレーティングシステム(OTOS)を刷新されたところ、今後は、市としてターミナル側と二層になつて検討を進め、新技術の導入に向けたような支援ができるのか、国とも検討を進めていきたい。

国の政策として「ガントリークレーンの遠隔化に対する導入支援」を掲げたが、このような新しい技術を活用した新制度について、積極的に導入を進むよう、コンテナターミナルの生産性の向上に向けて積極的に取り組んで参りたい。

重要実現 令和8年度に完成予定 JR須磨駅南側のエレベーター設置について

須磨海岸の利用をより一層円滑にするため、JR須磨駅南側のエレベーター設置を地元は長年待ち望んでいる。様々な課題がある状況にありながら、誰が安心して楽しめる須磨海岸の実現に向けて、JRが市が一体となってエレベーター設置を推進してほしいと考えているが、現在の検討状況について伺いたい。

港務局長

これまででもJRに対し、重点要望としてJR須磨駅南側のエレベーター設置を要請しているが、「バリアフリー化が進んでいない駅が優先的に設置を行っている」との理由から、実現に至っていないが、誰もがアクセシブルな駅を目指して参りたい。

JR須磨駅南口エレベーター整備計画案



出入口

エレベーター

決算特別委員会で質問する松本市議

リ・環境を整えることは重要であり、本市が主体となつて今年度基本設計を進めており、それと並行して、現在、駅舎南側のJR用地の使用、地下埋設物や空調機器など駅舎付帯設備の移転、既存駅舎や駅舎軌道との近接距離、などの課題についてJRとの具体的な協議を進める限り早期に進め、エレベーター設置の実現に向けて最大限努力して参りたい。

コベカについて

長年、学園・少年野球の大会など、青少年育成に向けた様々な取り組みの中で取り組んで参ります。その中でもコベカについては、コベカについてです。教育委員会の取り組みも分かります。しかし、今までの学校内での軟式野球への取り組みは、部活動での資金の問題が多くなつた。どこまで対応してくれるのかという心配も持っています。

一方で、中学校の時代を部活動で過ごす。それ以降に高校・大学・プロにつながる。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカについて

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。コベカにおいては子供たちの選択の幅を広げたいと考えています。

プロフィール 松本しゅうじ(周二)

高市早苗衆院議員(現・内閣総理大臣)と共に

市 若宮小学校卒業
市 瀧中学校卒業
市 神戸西高校卒業
(現在、須磨須磨高校)
近畿大学経済学部卒業
衆議院議員秘書
(公設第一秘書室(17年間))
自治大臣秘書
国土庁長官秘書
神戸市議会議員・八期連続当選
神戸市監査委員
港湾交通委員会委員長
文教経済委員会委員長
福祉環境委員会委員長
大都市税財政特別委員長

現在的主要役職

法務省須磨区保護司
兵庫県野球連盟副会長
神戸軟式野球協会会長
神戸市茶花道会顧問
自由民主党兵庫県支部連合会役員
(社団法人)くすの木の保育理事長
神戸市スポーツ協会評議員
近畿大学校友会常任幹事
神戸・学童軟式野球部顧問
少林寺拳法神戸連合会副会長
地元防災福祉コミュニティ顧問
地元ふれまち協議会顧問
地元自治会顧問
地元、市場商店街顧問

日本ケミカルシューズ工業組合相談役
兵庫県宅地建物取引業協会神戸支部顧問
ヴィッセル神戸を応援する市会議員の会
神戸市防衛議員懇話会議員
兵庫県教育関係者会顧問
名谷ソフトボールリーグ顧問
関西女子野球連盟・オール兵庫後援会会長
神戸市私立幼稚園常務議員懇話会議員
神戸ユネスコ協会顧問
その他顧問団体多数
INAC神戸レオネッサを応援する市会議員の会理事
オリックスパフ・ファローズを応援する市会議員の会

発行 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

《活動の中から》住民の多くの声を必ず市政に反映します。

スポーツ活動に!



松本しゅじ旗争奪少年少女野球大会・優勝の白川ホーネットチームに優勝旗を授与・激励する(G7球場)



準優勝の南落合ベースボールクラブの皆さんと



神戸軟式野球協会会長として全神戸選抜軟式野球大会で10回目の優勝記録を果たした城後藤回漕店チームを表彰・記念撮影する松本市議(G7球場)



神戸市長旗争奪少年野球選手権大会・開会式で激励挨拶する神戸軟式野球協会会長の松本市議と関係役員(あじさいスタジアム本球場)



オール須磨ソフトボールチームを激励する松本市議

第33回全国身体障害者野球大会・副会長の松本市議



地元・神戸コスモスチームを激励する(G7球場にて)



大会に始球式で参加する地元少年野球チームを激励する



神明あふじ米兵庫県ジュニア軟式野球選手権大会開会式に副会長として参加する県軟式野球連盟副会長の松本市議(G7球場)

少林寺拳法神戸市大会で心身の鍛錬に励む拳士に激励挨拶をする神戸連合会副会長の松本市議(神戸中央体育館)



少林寺拳法神戸市大会で心身の鍛錬に励む拳士に激励挨拶をする神戸連合会副会長の松本市議(神戸中央体育館)

須磨区少年サッカー大会として区長杯を設立した松本市議・第1回大会から取組む開会式で参加チームに激励挨拶する(総合運動公園球場)



須磨区少年サッカー大会として区長杯を設立した松本市議・第1回大会から取組む開会式で参加チームに激励挨拶する(総合運動公園球場)

平和活動に!



沖縄平和祈念公園の「島守の塔」にて元沖縄県知事の島田龍氏(須磨区出身)慰霊碑と「のじぎの塔」に献花参列する松本市議

保護司として社会貢献活動に!



沖縄少年院にて溝口院長から現状を聴取・視察する再犯防止に取り組む松本市議・伊藤泉・長瀬泉議



法務大臣に発達障害・心障害による犯罪抑止が重要との陳情の結果・大阪府警に再犯防止策等々が実施される事になった。大阪府警所長・関係者より現状を聴取する松本市議・伊藤泉・長瀬泉議と共に(大阪府警所)



安全で安心な「社会を明るくする運動」で協力を呼びかける須磨区保護司の松本市議(名谷バティオ広場)



安全で安心な「社会を明るくする運動」で協力を呼びかける須磨区保護司の松本市議(名谷バティオ広場)

伝統文化活動に!



神戸市茶花道会主催の「年末助け合い茶会」での田中とき子先生と共に顧問として参加協力する松本市議(生田神社会館にて)

地産地消に!



神戸水産物卸協同組合主催の「お魚感謝祭」で山本仁理事長さん・関係者方々に激励感謝する松本市議(神戸中央卸売市場にて)

環境問題に!



須磨海岸のクリーン作戦に参加・ボランティア皆さんと共に清掃活動する松本市議

漁業振興に!



地引網に参加する松本市議



Suma豊かな海プロジェクトに参加・代表理事・若林良さんを激励する松本市議・関衆院議員

地域活動に!



第92回神戸奄美会定期総会で挨拶する松本市議・関衆院議員と共に(新長田勤労センター)



兵庫県柔道整復師会神戸支部ファミリー懇親会で挨拶する顧問の松本市議と山口市議



南須磨連合自治会餅つき大会で顧問として挨拶する松本市議(地元公園)



須磨浦商店街餅つき大会で顧問として役員を激励する松本市議



須磨区シニアクラブ主催の総会で健康長寿で頑張ってくださいと激励挨拶する松本市議(須磨区役所)



神戸市スポーツ協会評議員として松本市議と長島元サッカー日本代表と共に



須磨区歯科医師会懇親会で挨拶する松本市議



南落合ふれあい祭りに参加するふれまち顧問の松本市議と岩城須磨区長さん



アルテピア3番街夏祭りで役員皆様を激励する松本市議と関衆院議員



須磨区シニアクラブ主催の総会で健康長寿で頑張ってくださいと激励挨拶する松本市議(須磨区役所)

山下てんせい

神戸市議員（西区）4 期目 **KOBE**
UNESCO City of Design

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
市政報告 vol.23

令和 8 年 2 月発行

市政のお困り事は、
いつでも山下てんせいに
ご相談ください！



市政に関するご意見はスマホカメラで
QRコードを読み取っていただくと簡単です
メールフォームに直接つながります→



山下てんせい

検索

皆様平素より大変お世話になり、誠にありがとうございます。2025 年度は神戸市会議員選出として「監査委員」を拝命しております。監査委員は、市役所全体の事業や経営状況について把握することが可能であり、改めて基本的な法令・制度等の勉強ができるだけでなく、それが生きて運用されている実態を学ぶ機会を得ているので、とてもやりがいを感じております。今回はそんな監査委員の仕事をご紹介します。

1 財務定期監査と工事定期監査

監査委員会議は、主に本会議の閉会中を中心に集中的に開催されています。これは決算市会や予算市会めがけて、監査報告書を提出する必要があることが理由です。

監査報告書の内容である「**財務定期検査**」は、市に任されたお金が正しく使われているか、また市の経営に関わる仕事がきちんと行われているかを確認します。「**工事定期検査**」においても、市が委託する工事業務に関して同じようなチェックをします。すなわち、**いわゆる監査委員会議で審査されるのは、財務に関わる中心**ということです。

2 行政監査と住民監査請求

では**行政の仕事内容に関わることは？**という、必要と認めるとき（**行政監査**）あるいは住民から、市長その他の執行機関や職員の違法、不当な財務行為または怠る事実に関して監査の請求があった場合（**住民監査請求**）に随時行います。

行政監査の代表例としては 2019 年度の「ヤミ専従等の再発防止策について」（2020 年 3 月 30 日）で、その際、神戸市クレド（神戸

市職員の志）が制定され、現在でも理念と行動指針とされています。なお行政監査は 2020 年以降、財務定期監査や工事定期監査と一緒に実施されています。

住民監査請求については、山下てんせいも「生活保護に関する住民監査請求」（2025 年 6 月 16 日）にて、初めて関わらせていただきました。



3 審査・検査

監査委員による他の大きな機能は**審査と検査**です。審査は決算市会の前に行われ、決算特別委員会に出される議案の一部として取り扱われます。そのため、監査委員は決算特別委員会には参加しておりません。また**内部統制評価報告書審査**というのがあり、これは市の業務に対し、ミスや不正を防止する目的でなされる報告書が、正確で信頼できるものかどうかをチェックするものです。

また毎月、現金の出納事務が適切に行われているかを「現金出納検査」として行っています。

なぜ監査委員は必要なのか～半年を経ての感想

監査委員は、議会の中では 1 年交代となっています。そのため監査の仕事に慣れてきたころに次へとバトンタッチ…ということもしばしば起こります。そのため議員の間でも、恐らく温度差やリテラシーの差が大きい職務なのだろうと推測しています。

また監査室は極めて大きい独立性を持っているため、大事かつ自己犠牲を伴う困難な仕事にもかかわらず、あまり目立たないという難儀な立場であります。

しかしその昔、景気が良かったころに横行した、事務費のだぶつきから生じたカラ出張をはじめとするカラ支出や、それをプールした裏予算などの公金不正は、あることが市民オンブズマンに暴かれてマスコミを賑わせ

ました。その頃の監査室は、**その機能を活かせず、誰も言うことを聞かず、コントロール不能になっていた**といえます。

政治と行政に規律と成果を求める時代になって、やっと監査の目の大切さが認知されるようになってきました。しかし昨今のネット社会のスピード感に負けないチェック機能、それを察知するアンテナの高さ、そして先回りして仕事を改善するきっかけを与える具体的な改善策の提示等、監査室には、より高い能力が求められています。

それゆえ、これをお読みの皆様には、一度神戸市監査室のホームページを閲覧いただけたらと願っています。ただし専門用語が多く読みにくいのが難点です。山下てんせいとしまでも、監査の報告書に関して、できるだけわかりやすい表現で書き直したものを提供できればと思っております。



▲監査委員の自席より

(令和 7 年 12 月 8 日)
一般質問より

山下 久元市長がこれまでの3期で種をまいてこられた政策が、いよいよこの4期目で次々と開花することを期待しております。三宮の再整備を見ても、新バスターミナルや市役所2号館の工事が進み、まさに神戸の街は「変化の真っ只中」にあります。平成27年の構想から10年、ほぼ完成形が見えてきた一方で、「さんセンタープラザ」など、まだ取り組むべき課題も残っています。この4年間で三宮をどこまで完成させようと考えておられるのか。確定していない未来についての市長の熱いビジョンを伺いたい。



久元市長 三宮再整備は、単に個々のビルを建てるのではなく、道路や広場空間を含めた「面的」な再整備により、街を見違えるような都市空間に生まれ変わらせることが目的です。雲井通 5 丁目の「神戸三宮ツインゲート（1 期ビル）」は令和 9 年 12 月に完成し、西日本最大級のバスターミナルやラグジュアリーホテル、図書館、屋上庭園が順次開業します。JR 三宮新駅ビルや市役所 2 号館も令和 11 年度に完成し、6 つの駅の乗り換え動線も劇的に改善されます。そして、ご指摘の「さんセンタープラザ 3 館」ですが、現在、令和 8 年の再開発協議会設立を目指し、権利者の方々による検

西区の賑わいとインフラの利活用

山下 西神中央駅前にはリノベーションで非常に活気が出ました。これを西区全体の活性化に繋げたい。ところで、県道 65 号（神戸加古川姫路線）は、産業道路として交通量が非常に多いのにも関わらず、市街化調整区域のために便利施設が少なく、賑わいがありません。こうベアグリパークやヴィッセル神戸の練習場もあるこのエリアで、開発許可制度を柔軟に運用し、店舗などを誘致できないでしょうか。また、地下鉄西神・山手線沿線にビジネスホテルを誘致すべきです。なぜなら、工業団地への出張者から「旅費規定内で泊まれる手頃なホテルがなく不便だ」という声を多数聞いています。



小松副市長 県道 65 号については、令和 4 年の規制緩和により、集落エリアでの飲食店やカフェの立地を可能にしました。今後も地域の活性化に向け、柔軟な運用に努めます。ホテル誘致については、企業の出張ニーズがどの程度あるのか、まずは工業団地の企業へ丁寧にヒアリングを行い、ビジネス需要のボリュームを見極めます。事業性

地域活動の担い手不足と NPO 支援

山下 地域の繋がりが希薄化する中、地域協働局が令和 5 年に設置されました。そこで出張所に配置された「地域活性化担当係長」は現場でどう評価されていますか。また、NPO や地域団体が「自立」することも重要です。寄付やクラウドファンディング（CF）などの資金調達力を高める必要があります。市が 12 月から始めた CF 特設ページ「神戸みらいファンディング」は、神戸のブランド力を活かしてもっと目立たせるべきです。



食品ロス削減の実効性ある施策

山下 食品ロスについて。本市は多くの啓発を行っています。実行性が伴っているでしょうか。

11月から西神中央駅に設置された「冷蔵スマート

ロッカー（Wakeatte）」は、廃棄前の商品を安く
 買える仕組みで、非常に好評だと聞いています。
 こうした「SDGs ロッカー」を地下鉄の主要駅な
 どに積極的に拡大すべきではないですか。若い社
 会人や学生が安く食べられて、ロスも減る。これ
 が子を進めるべき事業です。



▲西神中央駅に設置された"Wakeatte"のロッカー

久元市長 これまでの啓発や情報発信だけでは、正直、目に見える削減効果に繋がっていなかったという反省があります。令和 8 年度の予算編成では、より実行性のある具体的な施策を構築できないか、検討を行っていきます。

小松副市長 西神中央のロッカーは、開始 1 ヶ月でアプリ登録者が 2600 人を超え、売れ残りはほぼゼロという素晴らしい成果が出ています。横浜市では 10 台設置で年 20 トンの削減効果が出ている事例もあります。設置場所や賃料、事業者への周知といった課題を整理し、民間事業者とどのような連携ができるか、具体的に検討を加速させます。

山下 食品ロス問題は SDGs だけでなく、若い世代への食の支援にも直結します。

市長の語られた三宮のビジョンと共に、こうした身近な地域の課題解決もスピード感を持って進めていきたく引き続きよろしくお願いします。

料金別納
郵便

KOBE 中央区に
お住まいの
みなさまへ



配達地域指定

かわなみ ただかず
こんにちは、河南忠和です。今回は、令和7年度の各委員会、本会議で発言し、
神戸市から答弁を得たトピックスに焦点をあててご報告します。
神戸市がより良い都市となりますように全力を尽くします。



ポートアイランドを陸続きに

『ペニンシュラ(半島)化構想』

令和7年12月8日の定例会(一般質問)で、第4突堤とポートアイランドの間を埋め立て、ポートアイランドを半島化する、いわゆる「ペニンシュラ化」することによって、三宮・ウォーターフロント・神戸空港を一体的な都市空間として再編していくという発想について、神戸市として検討に値する構想ではないかと提案しました。

続きは…ページを開いてお読みください



このあたりが陸続きになれば
神戸が大きく変わる！
未来が広がる！
災害対策にもなる！
と考え提案しました

出典：国土地理院撮影の空中写真(https://maps.gsi.go.jp)を加工して作成

市政報告トピックス

- JR元町駅周辺の再整備、JR元町駅東口バリアフリー化
- JR三ノ宮駅『新東口』の検討について
- 老朽配水池の耐震化と『熊内低層配水池』の上部有効活用
- 災害給水拠点の最適配置と東遊園地の機能強化
- 公園トイレチェンジアクション
- 『あじさいネット』の改善
- 京橋ランプから東行の渋滞改善について
- フラワーロード東側の路上喫煙対策
- 繁華街への防犯カメラ設置
- 地震体験車「ゆれるん」の活用拡大

“わかりやすい！”をモットーに
神戸市政に関わる
トピックをお伝えします！

令和8年3月6日
予算特別委員会
第2分科会にて
(危機管理局・消防局)

神戸市会議員

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ

ただかず
《中央区》

市政報告
vol.48

OPEN
開く



神戸市に
提案

ポートアイランドの 『ペニンシュラ(半島)化構想』

令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

第4突堤とポートアイランドの間を埋め立て、ポートアイランドを半島化する、いわゆる「ペニンシュラ化」することにより、三宮・ウォーターフロント・神戸空港を一体的な都市空間として再編していくという発想は、神戸市として検討に値する構想であると確信します。この構想により、都市の回遊性向上によるにぎわい創出に加え、**災害時における孤立リスクの低減といった防災上の効果、さらには新たに生まれる用地への民間投資による賃料収入や税収増など、財政面からも一定の合理性を持つと考えますが？**



かわなみ より
神戸市に提案！

令和7年12月8日
第2回定例会市会 一般質問にて

【久元市長】

「ペニンシュラ化」は、ウォーターフロントやポートアイランドエリア全体の回遊性を向上させると同時に、都心に近い臨海部に新たな用地を生み出すことにつながるものであり、神戸の持続的な成長・発展に資するアイデアであると受け止めています。新港第4突堤は、施設が老朽化し、世界の玄関口としてのターミナルのあり方を検討すべき時期に差しかかっています。

一方で、第4突堤とポートアイランドとの間の海面は、小型船舶やはしけなど多くの船が航行するとともに、遊覧船のコースとなっているなど、さまざまな課題がある事も事実です。まずは、現在進めている都心・三宮再整備やウォーターフロント再開発などを着実に進め、民間投資を誘発することで、より一層のにぎわいと街の活性化を図っていく。この流れをより効果的にポートアイランドへ波及できるよう検討を進め、神戸の持続的な成長につなげていきたい。



出典：国土地理院撮影の空中写真 (<https://maps.gsi.go.jp>) を加工して作成

このあたりが陸続きになれば
神戸が大きく変わる！
未来が広がる！
災害対策にもなる！
と考え提案しました



かわなみ の
視点

港島トンネルの中に水が入ってきて一時通行止めになっていた時期がありました。そうすると、神戸大橋だけでは交通が脆弱になるなと思っていました。災害対策のためにも、また種地をつくる意味でも、私はこの構想は神戸にとって重要なものではないかなと思っています。ポートアイランドも上書きされていく、動き続ける未来になるのか。今まさにその分岐点に立っていると私は考えております。**ポートアイランドのペニンシュラ化は単なる埋立て事業ではなくて、神戸が都市構造を継承するための挑戦**だと私は考えております。ぜひ、未来へつなぐペニンシュラ構想をぜひ検討していただきたいと思います。

行政手続きのスマート化 『あじさいネット』の改善

令和7年8月20日 外郭団体に関する特別委員会【都市局】への質疑要約

令和7年9月11日 決算特別委員会第1分科会(6年度決算)【企画調整局】への質疑要約

スポーツ施設や、文化センター、公民館などの施設予約がネット出来る『あじさいネット』。ネットで予約が出来るものの、利用者の方々から、「スマホ対応に不十分」「施設の空き状況の検索がしにくい」等の、不満の声をお聞きしていたので、神戸市に要望しました。



要望

利用の多いシニア層にとっても、
スマホで使いやすい『あじさいネット』に！

汎用システムを使っているため対応に限界がある、契約期間中のため、すぐに新しいシステムへの変更ができないと聞いております。今のシステムの制約を理由に現状維持でよしとするのではなくて、抜本的な改善に向けたロードマップも明示していただき、当面できる範囲での改善を積極的な姿勢でお願いします。



予約



予約システム自体をスマホに最適化する、施設検索の操作性改善などの、抜本的な改善は、現行システムの契約期限を迎える令和10年度以降になるようです。よいシステムに改善されるよう、期待したいと思います。

老朽配水池の耐震化と「熊内低層配水池」の上部有効活用

令和8年3月5日 予算特別委員会 第2分科会にて【水道局】への質疑要約



配水池って何？

浄水場でキレイにした水は、直接家庭へ送るのではなく、いったん配水池にためてから各家庭に送られます。配水池にためておくことで、安定した水圧で水を届けることができます。また、災害などで送水が止まった場合でも、しばらくは水を供給することができます。



① 配水池耐震化の計画

【かわなみ】

現在、神戸市の配水池の耐震化率は令和6年度時点で84%で整備は進んでいますが、阪神・淡路大震災を経験した都市としては、できるだけ早く100%に到達する必要があると考えます。今後、配水池の耐震化をどのような計画で進めていくのかお聞きします。

【水道局 藤原局長】

今後は、補強では対応できない古い配水池を更新する形で耐震化を進めます。主な計画は次のとおりです。この順で工事を進めます。

1. 奥平野低層配水池(明治33年築)
令和8年度工事着手 → 令和13年度完成予定
2. 熊内低層配水池
3. 東灘低層配水池

これらが完成すれば、配水池の耐震化率は約93%まで向上する見込みで、配水池の工事は、全体の完了までには約20年程度かかる見込みです。

② 熊内配水池の地域活用

【かわなみ】

熊内の配水池は静かな住宅街にあり、子育て世帯も増えています。しかしこの地域には大きな公園が少ないため、「配水池の上部を公園として開放できないか」という声を地域の方からよく聞きます。

水道施設は衛生面や安全面の制約があることは理解していますが、近年では配水池の上部を公園やスポーツ施設として活用している事例もあります。熊内配水池でも、市民が利用できるような形での活用を検討できないか、見解を伺います。

【水道局 橋上所長】

配水池は、市民へ安全な飲料水を供給する施設です。そのため、『貯留水の汚染防止』『テロ対策などのセキュリティ確保』の観点から、基本的に不特定多数が立ち入ることはできません。

熊内低層配水池は大正8年(1919年)築で、すでに100年以上経過しており、老朽化が進んでいます。今後更新を予定していますが、更新後の構造は、必要な貯水量確保のため地上から数メートル立ち上がる構造となる予定です。

そのため現時点では配水池の上部を全面的に公園利用することは難しいと考えています。ただし、かわなみ委員からの指摘も踏まえ、部分的な活用など可能な工夫がないか検討していきたいと考えています。

③ 熊内配水池の更新時期

【かわなみ】

その後の熊内配水池の更新はいつ頃着手予定でしょうか。

【水道局 橋上所長】

熊内低層配水池は令和14年度以降の着手を予定しています。



熊内配水池の
上部有効活用を！

少し先の計画になりますが、市街地では子ども、高齢者が利用できる広場や憩いの場のニーズが高まっています。市街地にある配水池については、改修の際にはぜひ上部利用など土地の有効活用も検討していただくよう要望します。

災害給水拠点の最適配置と東遊園地の機能強化

令和8年3月5日 予算特別委員会 第2分科会にて【水道局】への質疑要約

【かわなみ】

現在、市内には約200箇所の応急の給水拠点が整備されているが、地域によって配置に偏りがあるのではないかと特に近年、マンション建設が相次ぎ人口が急増している三宮・元町駅の南側エリアにおいて、主要な避難場所である「東遊園地」に給水拠点が無いのは不安だ。配置基準の考え方と、新設の可能性について伺いたい。

【藤原 水道局長】

拠点は「半径2km圏内に1箇所」などを目安に配置しており、当該エリアは磯上公園の大容量貯水槽でカバーしている。しかし東遊園地が震災復興のシンボルであり緊急避難場所であることから、今後、給水施設のものが整備できないか調整したい。



令和8年1月18日に、山の手小学校で開催された【中央区総合防災訓練】に参加。ふっQ水栓の使用訓練や、給水装置の組み立て体験などにチャレンジ。



「2km圏内にあるか」よりも
「避難した場所で
水が出るか」が重要

東遊園地はシンボリックな場所であり、災害時には帰宅困難者の滞留も想定される。磯上公園まで行かなくても水が確保できる環境は安心感に直結する。公園部局など関係局としっかり調整を行い、給水機能を確実に付加するよう強く要望します。



(例) 災害時臨時給水栓

ふっQすいせん

画像：神戸市水道局HPより

災害時給水マップ
(中央区版) →

神戸市水道局の
ホームページから
ダウンロードできます



公園トイレチェンジアクション

令和7年12月8日 第2回定例会市会 【一般質問】での質疑要約
令和8年3月3日 予算特別委員会 第2分科会にて【建設局】への質疑要約

【かわなみ】

私(かわなみ)は、令和7年12月8日の第2回定例会市会、一般質問において、公園トイレチェンジアクションの効果を十分に発揮させるためには、ハード整備のみならず、清掃や維持管理の質の向上が不可欠であること、また価格偏重の契約にならない仕組みが必要であると指摘をいたしました。その際に、久元市長からも「安かろう悪かろうでは困る」と力強い答弁がありました。今回の予算内容で本当に質の転換が図れるのでしょうか。

【建設局 原局長】

清掃業務につきましては、現在、一般競争入札で事業者の決定をしており、価格を重視した設定となっています。その「安かろう悪かろう」とならないようには、清掃の質を担保できる仕組みの検討が必要と考えており、プロポーザル方式(※)の導入により、価格だけではなく、その事業者のノウハウを清掃作業に反映でき、質の向上が期待できると考えています。まずは中部建設事務所管内(中央区と兵庫区)において、清掃手法や、衛生管理技術などのノウハウを求めるプロポーザル方式による事業者公募の実施を考えています。令和8年度予算において対応することとしています。新たな試みを行い、その効果、課題を検証しながら、今後も引き続き清掃の質向上に取り組み、トイレの環境改善を図っていきたくと考えています。



現在、神戸市では
152公園で、280棟のトイレが設置。
概ね週3回の頻度で
日常的な清掃が行なわれています。



プロポーザル方式を中部建設事務所管内で実施されると聞いて「**一歩進んだ**」と思っています。今までのトイレ清掃方法の仕様書(例：便座の汚れがとれていない等)の文章化も非常に難しいですし、民間の清掃業者の方が、洗剤なども含め色々なノウハウをお持ちだと思いますので、民間の力でキレイで気持ちよく使えるトイレを目指していただきたいと思います。

公園のトイレはキレイに使いましょう



プロポーザル方式とは…値段だけでなく
アイデアや技術を比べて選ぶ《企画提案方式》

JR元町駅周辺の再整備について

JR 元町

もとまち Motomachi

← こうべ

さんのみや →

令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

JR元町駅西口の再整備については、県庁舎の再整備と合わせて検討されると伺っております。元町駅西口の整備は県と市がしっかりと協調して取り組むことが重要であると考えます。元町駅西口の再整備については、県とどのように連携しながら進めていくのか、市としての御見解をお示しください。

※JR元町駅周辺の再整備については、令和7年9月17日、決算特別委員会 第一分科会でも都市局に質疑しました。

JR元町駅東口のバリアフリー化が決定

- エレベーター2基
- エスカレーター3基

工事着工／令和8年4月開始

工事完了予定／令和10年度中

※令和8年3月現在の予定です



【久元市長】

神戸市といたしましては、令和7年6月12日に元町駅周辺のリニューアルプランの検討に着手する旨を発表したところです。具体的な検討にあたりましては、ワーキンググループを設置し、地域のまちづくり団体の皆様や学識経験者、オブザーバーとしてJR西日本・阪神電気鉄道・兵庫県に参画いただきながら検討を進めることにしております。今後数回程度ワーキンググループを開催し、JRの高架下空間と一体となった「にぎわいの創出」につなげていくとともに、東口のバリアフリー化や県庁舎の再整備の動きと合わせて駅周辺の公共空間の再整備に向けた検討を進め、令和8年度末頃のリニューアルプランの策定を目指していきたいと存じます。



令和5年12月の
齋藤知事、久元市長への要望が
ようやく実現しました！

令和5年12月25日、令和5年度 兵庫県・神戸市調整会議において、私（かわなみ）は、当時、神戸市会副議長として出席。JR元町駅のバリアフリー化が1日でも早く実現されるように、県と市と一体となって取り組んでいただきたいと要望し、齋藤知事からも、久元市長からも前向きな発言を得ることが出来ました。その後、令和6年3月29日には、知事・市長連名による要望書がJR西日本へ提出されました。そして、令和7年6月12日、久元市長定例会見にて「JR西日本さんが、JR元町駅東口バリアフリー化を決定された」と、正式に公表がありました。

JR三ノ宮駅『新東口』の検討について

令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

令和7年10月に、新バスターミナル周辺の再開発エリアの愛称が『神戸三宮ツインゲート』に決定したとお伺いしました。このエリアが今後さらに多くの人でにぎわい、まちとして発展していくためには、新たな東口、ツインゲート口の整備も重要な検討課題であると考えます。今後もJR西日本と連携しながら、新東口の実現に向けて取り組んでいく考えがあるのか、見解をお伺いいたします。

【小松副市長】

JR三ノ宮駅新東口は、平成27年9月に策定しました三宮周辺地区の再整備基本構想におきまして、中長期的なプロジェクトとして位置づけているところです。これまでもJR西日本に対しまして、新東口の検討を申し入れています。現在まちづくりの観点から、新東口の整備の可能性について、JR西日本と勉強会を実施しているところです。今後も引き続き、新東口を設置する位置をはじめ、JR三ノ宮駅と新バスターミナルとの分かりやすい乗換え動線の確保や利便性向上、さらには三宮駅東エリアのまちの活性化に向けた協議をJR西日本としっかり進めていきたいと考えています。



神戸三宮TWINGATE（ツインゲート）は、新バスターミナルが出来るJR三ノ宮駅東側の再開発エリア（雲井通5・6丁目）の名称です。

要望



JR西日本さんの判断だけで実現するものではなくて、周辺のまちづくりやインフラ整備、費用負担の在り方など、行政や地域が主体的に関わる中でこそ形になるものだ認識をしております。あわせて、現在この周辺で事業を営まれている皆様が置き去りになることがないように、地域全体がともに発展していけるような配慮も欠かせないと考えております。神戸三宮ツインゲートの名にふさわしい拠点となるよう、市としても主体性を持って取り組んでいただきたいと思います。



何とか改善できませんか？

京橋ランプから 東行きの



渋滞

令和8年3月3日 予算特別委員会・第2分科会にて【建設局】への質疑要約

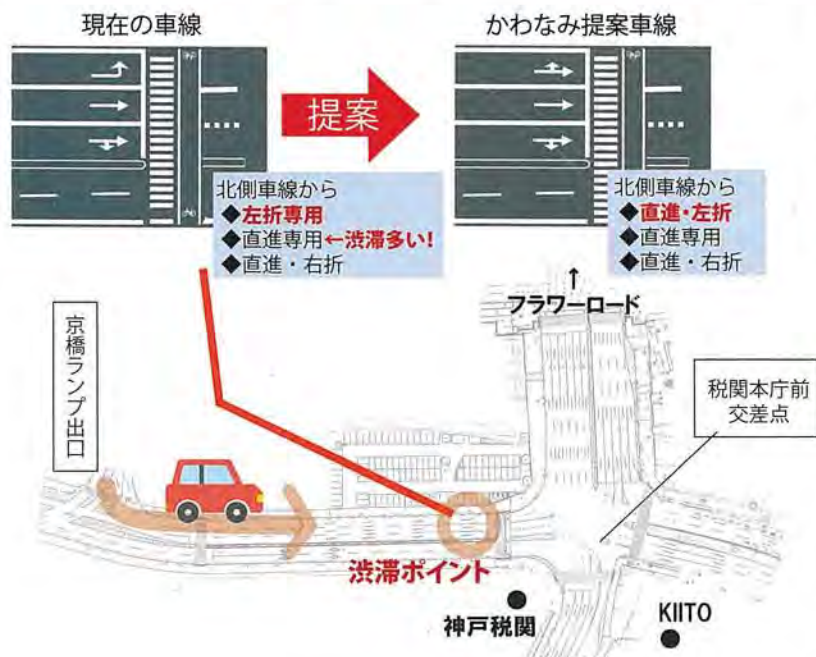
【かわなみ】

阪神高速神戸線の京橋インターチェンジを出て三宮やポートアイランドへ向かう場合、京橋ランプ出口を左折した先の「税関本庁前交差点」は3車線になっています。3車線あるものの、真ん中の車線に集中し、渋滞が発生し、車列が阪神高速本線まで伸びる状況も見られ、安全面からも問題があります。例えば「左折専用」を「直進・左折」に変更する、直進車の処理能力を高めるといった運用を行えば、渋滞緩和につながるのでは？と考えます。神戸市に、見解を伺いました。

かわなみ



令和8年3月3日予算特別委員会



【建設局 武田副局長】

現在検討中の解消方法としては、交差点西側の道路線形を北側にシフトし、線形の不一致を解消することで、第3車線（直進・右折）を直進車が利用しやすくなり、渋滞緩和が期待できる、歩道整備により歩行者の安全性向上にもつながると考えています。かわなみ委員からの提案「左折専用」を「直進・左折」に変更する案についても一つの方法と認識しています。交通管理者（警察）と協議しながら検討していきたいと考えています。



机上の検討だけでなく、まずは実証実験（社会実験）を行うべきではないかと聞いてみました。

【建設局 北田道路計画課長】

警察としては、現在の第1車線（左折専用）を直進・左折に変更することについては「交通処理への影響」「交通安全上の課題」が生じる可能性を懸念していると聞いています。しかし、かわなみ委員からの提案のように、社会実験として一時的に車線運用を変更、効果や課題の検証し、本格実施を判断するという方法は考えられると思います。社会実験を行う場合は、「警察」「国土交通省」「阪神高速道路株式会社」など、関係機関との協議が不可欠です。今後、関係機関と連携しながら調整を進めていきたいと考えています。

かわなみ
要望

この問題は神戸市だけで解決できるものではなく、警察や阪神高速など関係機関の理解が必要です。ぜひその機運をつくっていただきたいと思います。神戸を訪れた方にとっても、安全で分かりやすい交通環境にするため、警察との協議を進め、改善に取り組んでいただくことを要望します。



かわなみ要望

フラワーロード東側の 路上喫煙対策



令和7年12月8日 第2回定例会市会【一般質問】

現在、フラワーロード東側は路上喫煙禁止地区の対象外ですが、人通りが多く、路上喫煙やポイ捨てに関する苦情が多く寄せられています。今後はバスターミナルビルの整備により、新たな人の流れが生まれることも予測されます。路上喫煙禁止地区指定への検討にあわせて、喫煙所の整備や拡充など、喫煙者と非喫煙者の双方が快適に過ごせる環境づくりを要望しました。

繁華街への 防犯カメラ設置



令和8年3月6日 予算特別委員会【危機管理局・消防局】

防犯カメラは市民の体感治安の向上に大きく寄与します。三宮の北側エリアは「客引き行為等禁止地区」にも指定されており、人流も多い。店舗が設置する民間カメラは場所の偏りがあり、警察からの画像照会対応も事業者の負担となっています。三宮周辺の繁華街への「神戸市カメラ」設置を一層進めていただくよう要望しました。

地震体験車 「ゆれるん」の 活用拡大



令和8年3月3日 予算特別委員会【建設局】

令和8年3月6日 予算特別委員会【危機管理局・消防局】

VR機能搭載の新型地震体験車「ゆれるん」は、視覚・聴覚を伴う非常に有効な防災教育ツールですが、車両の大型化（全長7.4m、高さ3.3m、重さ8トン）により、一部の公園や訓練会場に入れないケースがあると聞きます。活用機会を逃さないよう、会場搬入路等、施設面での改善を要望しました。

本紙記載の質疑内容詳細はWEBで詳しくお読みいただけます。お問合せフォームも下記QRコードからどうぞ。

かわなみ忠和

検索

神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

発行：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
かわなみ市政報告vol.48／配達地域指定版 編集：2026年（令和8年）3月
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

かわなみただかす

《中央区》



かわなみ ただかず

《中央区》

発行：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 かわなみ市政報告vol.48/D3版 編集：2026年（令和8年）3月
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846



「わかりやすい」をモットーに
神戸市政に関わる
トピックをお伝えします！

令和8年3月6日
予算特別委員会
第2分科会にて
（危機管理局・消防局）

こんにちは、河内忠和です。今回は、令和7年度の各委員会、本会議で発言し、神戸市から答弁を得たトピックスに焦点をあててご報告します。
神戸市がより良い都市となりますように全力を尽くします。



- 京橋ランプから東行の渋滞改善について
- ポートアイランドのペニンシュラ（半島）化構想
- JR元町駅周辺の再整備、JR元町駅東口バリアフリー化
- JR三ノ宮駅「新東口」の検討について
- 老朽配水池の耐震化と「熊内低層配水池」の上部有効活用
- 災害給水拠点の最適配置と東遊園地の機能強化
- 公園トイレチェンジアクション
- 『あじさいネット』の改善
- フラワーロード東側の路上喫煙対策
- 繁華街への防犯カメラ設置
- 地震体験車「ゆれるん」の活用拡大

01 何とか改善できませんか？ 京橋ランプから東行きの渋滞

令和8年3月3日 予算特別委員会・第2分科会にて【建設局】への質疑要約

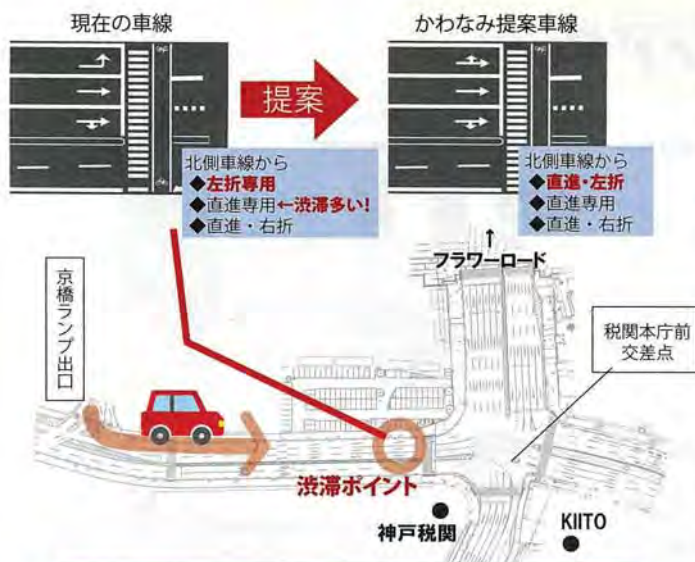
【かわなみ】

阪神高速神戸線の京橋インターチェンジを出て三宮やポートアイランドへ向かう場合、京橋ランプ出口を左折した先の「税関本庁前交差点」は3車線になっています。3車線あるものの、真ん中の車線に集中し、渋滞が発生し、車列が阪神高速本線まで伸びる状況も見られ、安全面からも問題があります。例えば「左折専用」を「直進・左折」に変更する、直進車の処理能力を高めるといった運用を行えば、渋滞緩和につながるのでは？と考えます。神戸市に、見解を伺いました。

かわなみ



令和8年3月3日予算特別委員会



かわなみ
要望

この問題は神戸市だけで解決できるものではなく、警察や阪神高速など関係機関の理解が必要です。ぜひその機運をつくっていただきたいと思います。神戸を訪れた方にとっても、安全で分かりやすい交通環境にするため、警察との協議を進め、改善に取り組んでいただくことを要望します。

【建設局 武田副局長】

現在検討中の解消方法としては、交差点西側の道路線形を北側にシフトし、線形の不一致を解消することで、第3車線（直進・右折）を直進車が利用しやすくなり、渋滞緩和が期待できる、歩道整備により歩行者の安全性向上にもつながると考えています。かわなみ委員からの提案「左折専用」を「直進・左折」に変更する案についても一つの方法と認識しています。交通管理者（警察）と協議しながら検討していきたいと考えています。

机上の検討だけでなく、まずは実証実験（社会実験）を行うべきではないか？と聞いてみました。

【建設局 北田道路計画課長】

警察としては、現在の第1車線（左折専用）を直進・左折に変更することについては「交通処理への影響」「交通安全上の課題」が生じる可能性を懸念していると聞いています。しかし、かわなみ委員からの提案のように、社会実験として一時的に車線運用を変更、効果や課題の検証し、本格実施を判断するという方法は考えられると思います。社会実験を行う場合は、「警察」「国土交通省」「阪神高速道路株式会社」など、関係機関との協議が不可欠です。今後、関係機関と連携しながら調整を進めていきたいと考えています。



02

ポートアイランドのペニンシュラ(半島)化構想

神戸市に
提案しました



令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

第4突堤とポートアイランドの間を埋め立て、ポートアイランドを半島化する、いわゆる「ペニンシュラ化」することにより、三宮・ウォーターフロント・神戸空港を一体的な都市空間として再編していくという発想は、神戸市として検討に値する構想であると確信します。この構想により、都市の回遊性向上によるにぎわい創出に加え、**災害時における孤立リスクの低減といった防災上の効果、さらには新たに生まれる用地への民間投資による賃料収入や税収増など、財政面からも一定の合理性を持つと考えますが？**



かわなみ より
神戸市に提案！

令和7年12月8日
第2回定例会 一般質問にて

【久元市長】

「ペニンシュラ化」は、ウォーターフロントやポートアイランドエリア全体の回遊性を向上させると同時に、都心に近い臨海部に新たな用地を生み出すことにつながるものであり、神戸の持続的な成長・発展に資するアイデアであると受け止めています。新港第4突堤は、施設が老朽化し、世界の玄関口としてのターミナルのあり方を検討すべき時期に差しかかっています。一方で、第4突堤とポートアイランドとの間の海面は、小型船舶やはしけなど多くの船が航行するとともに、遊覧船のコースとなっているなど、さまざまな課題がある事も事実です。まずは、現在進めている都心・三宮再整備やウォーターフロント再開発などを着実に進め、民間投資を誘発することで、より一層のにぎわいと街の活性化を図っていく。この流れをより効果的にポートアイランドへ波及できるよう検討を進め、神戸の持続的な成長につなげていきたい。



このあたりが陸続きになれば
神戸が大きく変わる！
未来が広がる！
災害対策にもなる！
と考え提案しました

出典：国土地理院撮影の空中写真（<https://maps.gsi.go.jp>）を加工して作成



港島トンネルの中に水が入ってきて一時通行止めになっていた時期がありました。そうすると、神戸大橋だけでは交通が脆弱になるなと思っていました。災害対策のためにも、また種地をつくる意味でも、私はこの構想は神戸にとって重要なものではないかなと思っています。ポートアイランドも上書きされていく、動き続ける未来になるのか。今まさにその分岐点に立っていると私は考えております。**ポートアイランドのペニンシュラ化は単なる埋立て事業ではなく、神戸が都市構造を継承するための挑戦**だと私は考えております。ぜひ、未来へつなぐペニンシュラ構想をぜひ検討していただきたいと思います。

03 公園トイレチェンジアクション

令和7年12月8日 第2回定例会 【一般質問】での質疑要約
令和8年3月3日 予算特別委員会 第2分科会にて【建設局】への質疑要約

【かわなみ】

私(かわなみ)は、令和7年12月8日の第2回定例会、一般質問において、公園トイレチェンジアクションの効果を十分に発揮させるためには、ハード整備のみならず、清掃や維持管理の質の向上が不可欠であること、また価格偏重の契約にならない仕組みが必要であると指摘をいたしました。その際に、久元市長からも「安かろう悪かろうでは困る」と力強い答弁がありましたが、今回の予算内容で本当に質の転換が図れるのでしょうか。

【建設局 原局長】

清掃業務につきましては、現在、一般競争入札で事業者の決定をしており、価格を重視した設定となっています。その「安かろう悪かろう」とならないようには、清掃の質を担保できる仕組みの検討が必要と考えており、プロポーザル方式(※)の導入により、価格だけではなく、その事業者のノウハウを清掃作業に反映でき、質の向上が期待できると考えています。まずは中部建設事務所管内(中央区と兵庫区)において、清掃手法や、衛生管理技術などのノウハウを求めるプロポーザル方式による事業者公募の実施を考えています。令和8年度予算において対応することとしています。新たな試みを行い、その効果、課題を検証しながら、今後も引き続き清掃の質向上に取り組み、トイレの環境改善を図っていきたくと考えています。



現在、神戸市では
152公園で、280棟のトイレが設置。
概ね週3回の頻度で
日常的な清掃が行なわれています。

要望

プロポーザル方式を中部建設事務所管内で実施されると聞いて**一歩進んだ**なと思っています。今までのトイレ清掃方法の仕様書(例:便座の汚れがとれていない等)の文章化も非常に難しいですし、民間の清掃業者の方が、洗剤なども含め色々なノウハウをお持ちだと思いますので、民間の活力でキレイで気持ちよく使えるトイレを目指していただきたいと思います。

公園のトイレはキレイに使いましょう



プロポーザル方式とは…値段だけでなく
アイデアや技術を比べて選ぶ《企画提案方式》

老朽配水池の耐震化と「熊内低層配水池」の上部有効活用

令和8年3月5日 予算特別委員会 第2分科会にて【水道局】への質疑要約

かわなみ
MEMO

配水池って何？

浄水場でキレイにした水は、直接家庭へ送るのではなく、いったん配水池にためてから各家庭に送られます。配水池にためておくことで、安定した水圧で水を届けることができます。また、災害などで送水が止まった場合でも、しばらくは水を供給することができます。



① 配水池耐震化の計画

【かわなみ】

現在、神戸市の配水池の耐震化率は令和6年度時点で84%で整備は進んでいますが、阪神・淡路大震災を経験した都市としては、できるだけ早く100%に到達する必要があると考えます。今後、配水池の耐震化をどのような計画で進めていくのかお聞きします。

【水道局 藤原局長】

今後は、補強では対応できない古い配水池を更新する形で耐震化を進めます。主な計画は次のとおりです。この順で工事を進めます。

1. 奥平野低層配水池(明治33年築)
令和8年度工事着手 → 令和13年度完成予定
2. 熊内低層配水池
3. 東灘低層配水池

これらが完成すれば、配水池の耐震化率は約93%まで向上する見込みで、配水池の工事は、全体の完了までには約20年程度かかる見込みです。

② 熊内配水池の地域活用

【かわなみ】

熊内の配水池は静かな住宅街にあり、子育て世帯も増えています。しかしこの地域には 大きな公園が少ないため、「配水池の上部を公園として開放できないか」という声を地域の方からよく聞きます。水道施設は衛生面や安全面の制約があることは理解していますが、近年では 配水池の上部を公園やスポーツ施設として活用している事例もあります。熊内配水池でも、市民が利用できるような形での活用を検討できないか、見解を伺います。

【水道局 橋上所長】

配水池は、市民へ安全な飲料水を供給する施設です。そのため、『貯留水の汚染防止』『テロ対策などのセキュリティ確保』の観点から、基本的に不特定多数が立ち入ることはできません。

熊内低層配水池は大正8年(1919年)築で、すでに100年以上経過しており、老朽化が進んでいます。今後更新を予定していますが、更新後の構造は、必要な貯水量確保のため地上から数メートル立ち上がる構造となる予定です。そのため現時点では配水池の上部を全面的に公園利用することは難しいと考えています。ただし、かわなみ委員からの指摘も踏まえ、部分的な活用など可能な工夫がないか検討していきたいと考えています。

③ 熊内配水池の更新時期

【かわなみ】

その後の熊内配水池の更新はいつ頃着手予定でしょうか。

【水道局 橋上所長】

熊内低層配水池は令和14年度以降の着手を予定しています。

要望

熊内配水池の
上部有効活用を！

少し先の計画になりますが、市街地では子ども、高齢者が利用できる 広場や憩いの場のニーズが高まっています。市街地にある配水池については、改修の際にはぜひ上部利用など土地の有効活用も検討していただくよう要望します。

災害給水拠点の最適配置と東遊園地の機能強化

令和8年3月5日 予算特別委員会 第2分科会にて【水道局】への質疑要約

【かわなみ】

現在、市内には約200箇所の応急の給水拠点が整備されているが、地域によって配置に偏りがあるのではないかと特に近年、マンション建設が相次ぎ人口が急増している三宮・元町駅の南側エリアにおいて、主要な避難場所である「東遊園地」に給水拠点がいないのは不安だ。配置基準の考え方、新設の可能性について伺いたい。

【藤原 水道局長】

拠点は「半径2km圏内に1箇所」などを目安に配置しており、当該エリアは磯上公園の大容量貯水槽でカバーしている。しかし東遊園地が震災復興のシンボルであり緊急避難場所であることから、今後、給水施設的なものが整備できないか調整したい。



令和8年1月18日に、山の手小学校で開催された【中央区総合防災訓練】に参加。ふっQ水栓の使用訓練や、給水装置の組み立て体験などにチャレンジ。

「2km圏内にあるか」よりも
「避難した場所で
水が出るか」が重要

東遊園地はシンボリックな場所であり、災害時には帰宅困難者の滞留も想定される。磯上公園まで行かなくても水が確保できる環境は安心感に直結する。公園部局など関係局としっかり調整を行い、給水機能を確実に付加するよう強く要望します。

災害時給水マップ
(中央区版) ➡

神戸市水道局のホームページから
ダウンロードできます



06 JR元町駅周辺の再整備について

JR 元町
もとまち Motomachi
← こうべ さんのみや →

令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

JR元町駅西口の再整備については、県庁舎の再整備と合わせて検討されると伺っております。元町駅西口の整備は県と市がしっかりと協調して取り組むことが重要であると考えます。元町駅西口の再整備については、県とどのように連携しながら進めていくのか、市としての御見解をお示ください。

※JR元町駅周辺の再整備については、令和7年9月17日、決算特別委員会 第一分科会でも都市局に質疑しました。

【久元市長】

神戸市といたしましては、令和7年6月12日に元町駅周辺のリニューアルプランの検討に着手する旨を発表したところで、具体的な検討にあたりましては、ワーキンググループを設置し、地域のまちづくり団体の皆様や学識経験者、オブザーバーとしてJR西日本・阪神電気鉄道・兵庫県に参画いただきながら検討を進めることにしております。今後数回程度ワーキンググループを開催し、JRの高架下空間と一体となった「にぎわいの創出」につなげていくとともに、東口のバリアフリー化や県庁舎の再整備の動きと合わせて駅周辺の公共空間の再整備に向けた検討を進め、令和8年度末頃のリニューアルプランの策定を目指していきたく存じます。

JR元町駅東口のバリアフリー化が決定

- エレベーター2基
- エスカレーター3基

工事着工/令和8年4月開始
工事完了予定/令和10年度中
※令和8年3月現在の予定です



令和5年12月の
齋藤知事、久元市長への要望が
ようやく実現しました!

令和5年12月25日、令和5年度 兵庫県・神戸市調整会議において、私(かわなみ)は、当時、神戸市会副議長として出席。JR元町駅のバリアフリー化が1日でも早く実現されるように、県と市と一体となって取り組んでいただきたいと要望し、齋藤知事からも、久元市長からも前向きな発言を得ることが出来ました。その後、令和6年3月29日には、知事・市長連名による要望書がJR西日本へ提出されました。そして、令和7年6月12日、久元市長定例会見にて「JR西日本さんが、JR元町駅東口バリアフリー化を決定された」と、正式に公表がありました。



07 JR三ノ宮駅『新東口』の検討について

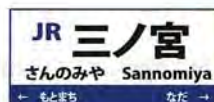
令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

令和7年10月に、新バスターミナル周辺の再開発エリアの愛称が『神戸三宮ツインゲート』に決定したとお伺いしました。このエリアが今後さらに多くの人でにぎわい、まちとして発展していくためには、新たな東口、ツインゲート口の整備も重要な検討課題であると考えます。今後もJR西日本と連携しながら、新東口の実現に向けて取り組んでいく考えがあるのか、見解をお伺いいたします。

【小松副市長】

JR三ノ宮駅新東口は、平成27年9月に策定しました三宮周辺地区の再整備基本構想におきまして、中長期的なプロジェクトとして位置づけているところです。これまでもJR西日本に対して、新東口の検討を申し入れています。現在まちづくりの観点から、新東口の整備の可能性について、JR西日本と勉強会を実施しているところです。今後も引き続き、新東口を設置する位置をはじめ、JR三ノ宮駅と新バスターミナルとの分かりやすい乗換え動線の確保や利便性向上、さらには三宮駅東エリアのまちの活性化に向けた協議をJR西日本としっかり進めていきたいと考えています。



神戸三宮TWINGATE(ツインゲート)は、新バスターミナルが出来るJR三ノ宮駅東側の再開発エリア(雲井通5・6丁目)の名称です。

要望

JR西日本さんの判断だけで実現するものではなくて、周辺のまちづくりやインフラ整備、費用負担の在り方など、行政や地域が主体的に関わる中でこそ形になるものだとして認識しております。あわせて、現在この周辺で事業を営まれている皆様が置き去りになることがないように、地域全体がともに発展していけるような配慮も欠かせないと考えております。神戸三宮ツインゲートの名にふさわしい拠点となるよう、市としても主体性を持って取り組んでいただきたいと思います。

08 あじさいネットの改善

令和7年8月20日
外部団体に関する特別委員会【都市局】への質疑要約
令和7年9月11日
決算特別委員会第1分科会(6年度決算)【企画調整局】への質疑要約

要望

『あじさいネット』の利用者の方々から、「スマホ対応に不十分」「施設の空き状況の検索がしにくい」等の、不満の声をお聞きしていたので、神戸市に要望しました。予約システム自体をスマホに最適化する、施設検索の操作性改善などの、抜本的な改善は、現行システムの契約期限を迎える令和10年度以降になるようです。よいシステムに改善されるよう、期待したいと思っております。



others

フラワーロード東側の路上喫煙対策

令和7年12月8日 第2回定例会市会【一般質問】

現在、フラワーロード東側は路上喫煙禁止地区の対象外ですが、人通りが多く、路上喫煙やポイ捨てに関する苦情が多く寄せられています。今後はバスターミナルビルの整備により、新たな人の流れが生まれることも予測されます。路上喫煙禁止地区指定への検討にあわせて、喫煙所の整備や拡充など、喫煙者而非喫煙者の双方が快適に過ごせる環境づくりを要望しました。

繁華街への防犯カメラ設置

令和8年3月6日 予算特別委員会【危機管理課・消防局】

防犯カメラは市民の体感治安の向上に大きく寄与します。三宮の北側エリアは「客引き行為等禁止地区」にも指定されており、人流も多い。店舗が設置する民間カメラは場所の偏りがあり、警察からの画像照会対応も事業者の負担となっています。三宮周辺の繁華街への「神戸市カメラ」設置を一層進めていただくよう要望しました。

地震体験車「ゆれるん」の活用拡大

令和8年3月3日 予算特別委員会【建設局】
令和8年3月6日 予算特別委員会【危機管理課・消防局】

VR機能搭載の新型地震体験車「ゆれるん」は、視覚・聴覚を伴う非常に有効な防災教育ツールですが、車両の大型化(全長7.4m、高さ3.3m、重さ8トン)により、一部の公園や訓練会場に入れないケースがあると聞きます。活用機会を逃さないよう、会場搬入路等、施設面での改善を要望しました。



料金別納

KOBE

中央区に
お住まいの
みなさまへ



タウンプラス

かわなみ ただかず

こんにちは、河南忠和です。今回は、令和7年度の各委員会、本会議で発言し、
神戸市から答弁を得たトピックスに焦点をあててご報告します。
神戸市がより良い都市となりますように全力を尽くします。

神戸市に
提案

ポートアイランドを陸続きに

『ペニンシュラ(半島)化構想』

令和7年12月8日の定例会市会(一般質問)で、第4突堤とポートアイランドの間を埋め立て、ポートアイランドを半島化する、いわゆる「ペニンシュラ化」することによって、三宮・ウォーターフロント・神戸空港を一体的な都市空間として再編していくという発想について、神戸市として検討に値する構想ではないかと提案しました。

続きは…ページを開いてお読みください



このあたりが陸続きになれば
神戸が大きく変わる！
未来が広がる！
災害対策にもなる！
と考え提案しました

出典：国土地理院撮影の空中写真(https://maps.gsi.go.jp)を加工して作成

市政報告トピックス

ページを開いてお読みください

- JR元町駅周辺の再整備、JR元町駅東口バリアフリー化
- JR三ノ宮駅『新東口』の検討について
- 老朽配水池の耐震化と『熊内低層配水池』の上部有効活用
- 災害給水拠点の最適配置と東遊園地の機能強化
- 公園トイレチェンジアクション
- 『あじさいネット』の改善
- 京橋ランプから東行の渋滞改善について
- フラワーロード東側の路上喫煙対策
- 繁華街への防犯カメラ設置
- 地震体験車「ゆれるん」の活用拡大

“わかりやすい!”をモットーに
神戸市政に関わる
トピックをお伝えします!

令和8年3月6日
予算特別委員会
第2分科会にて
(危機管理局・消防局)

神戸市会議員

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

かわなみ ただかず
《中央区》

市政報告
vol.48

OPEN



神戸市に
提案

ポートアイランドの 『ペニンシュラ(半島)化構想』

令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

第4突堤とポートアイランドの間を埋め立て、ポートアイランドを半島化する、いわゆる「ペニンシュラ化」することにより、三宮・ウォーターフロント・神戸空港を一体的な都市空間として再編していくという発想は、神戸市として検討に値する構想であると確信します。この構想により、都市の回遊性向上によるにぎわい創出に加え、**災害時における孤立リスクの低減といった防災上の効果、さらには新たに生まれる用地への民間投資による賃料収入や税収増など、財政面からも一定の合理性を持つと考えますが？**



令和7年12月8日
第2回定例会市会 一般質問にて

【久元市長】

「ペニンシュラ化」は、ウォーターフロントやポートアイランドエリア全体の回遊性を向上させると同時に、都心に近い臨海部に新たな用地を生み出すことにつながるものであり、神戸の持続的な成長・発展に資するアイデアであると受け止めています。新港第4突堤は、施設が老朽化し、世界の玄関口としてのターミナルのあり方を検討すべき時期に差しかかっています。

一方で、第4突堤とポートアイランドとの間の海面は、小型船舶やはしけなど多くの船が航行するとともに、遊覧船のコースとなっているなど、さまざまな課題がある事も事実です。まずは、現在進めている都心・三宮再整備やウォーターフロント再開発などを着実に進め、民間投資を誘発することで、より一層のにぎわいと街の活性化を図っていく。この流れをより効果的にポートアイランドへ波及できるよう検討を進め、神戸の持続的な成長につなげていきたい。



出典：国土地理院撮影の空中写真 (<https://maps.gsi.go.jp>) を加工して作成



かわなみの
視点

港島トンネルの中に水が入ってきて一時通行止めになっていた時期がありました。そうすると、神戸大橋だけでは交通が脆弱になるなと思っていました。災害対策のためにも、また種地をつくる意味でも、私はこの構想は神戸にとって重要なものではないかなと思っています。ポートアイランドも上書きされていく、動き続ける未来になるのか。今まさにその分岐点に立っていると私は考えております。**ポートアイランドのペニンシュラ化は単なる埋立て事業ではなくて、神戸が都市構造を継承するための挑戦**だと私は考えております。ぜひ、未来へつなぐペニンシュラ構想をぜひ検討していただきたいと思います。

行政手続きのスマート化 『あじさいネット』の改善

令和7年8月20日 外郭団体に関する特別委員会【都市局】への質疑要約

令和7年9月11日 決算特別委員会第1分科会(6年度決算)【企画調整局】への質疑要約

スポーツ施設や、文化センター、公民館などの施設予約がネット出来る『あじさいネット』。ネットで予約が出来るものの、利用者の方々から、「スマホ対応に不十分」「施設の空き状況の検索がしにくい」等の、不満の声をお聞きしていたので、神戸市に要望しました。



要望

利用の多いシニア層にとっても、
スマホで使いやすい『あじさいネット』に！

汎用システムを使っているため対応に限界がある、契約期間中のため、すぐに新しいシステムへの変更ができないと聞いております。今のシステムの制約を理由に現状維持でよしとするのではなくて、抜本的な改善に向けたロードマップも明示していただき、当面できる範囲での改善を積極的な姿勢でお願いします。



予約システム自体をスマホに最適化する、施設検索の操作性改善などの、抜本的な改善は、現行システムの契約期限を迎える令和10年度以降になるようです。よいシステムに改善されるよう、期待したいと思います。

老朽配水池の耐震化と 「熊内低層配水池」の上部有効活用

令和8年3月5日 予算特別委員会 第2分科会にて【水道局】への質疑要約



配水池って何？

浄水場でキレイにした水は、直接家庭へ送るのではなく、いったん配水池にためてから各家庭に送られます。配水池にためておくことで、安定した水圧で水を届けることができます。また、災害などで送水が止まった場合でも、しばらくは水を供給することができます。



熊内低層配水池



① 配水池耐震化の計画

【かわなみ】

現在、神戸市の配水池の耐震化率は令和6年度時点で84%で整備は進んでいますが、阪神・淡路大震災を経験した都市としては、できるだけ早く100%に到達する必要があると考えます。今後、配水池の耐震化をどのような計画で進めていくのかお聞きします。

【水道局 藤原局長】

今後は、補強では対応できない古い配水池を更新する形で耐震化を進めます。主な計画は次のとおりです。この順で工事を進めます。

1. 奥平野低層配水池(明治33年築)
令和8年度工事着手 → 令和13年度完成予定
2. 熊内低層配水池
3. 東灘低層配水池

これらが完成すれば、配水池の耐震化率は約93%まで向上する見込みで、配水池の工事は、全体の完了までには約20年程度かかる見込みです。

② 熊内配水池の地域活用

【かわなみ】

熊内の配水池は静かな住宅街にあり、子育て世帯も増えています。しかしこの地域には大きな公園が少ないため、「配水池の上部を公園として開放できないか」という声を地域の方からよく聞きます。

水道施設は衛生面や安全面の制約があることは理解していますが、近年では配水池の上部を公園やスポーツ施設として活用している事例もあります。熊内配水池でも、市民が利用できるような形での活用を検討できないか、見解を伺います。

【水道局 橋上所長】

配水池は、市民へ安全な飲料水を供給する施設です。そのため、『貯留水の汚染防止』『テロ対策などのセキュリティ確保』の観点から、基本的に不特定多数が立ち入ることはできません。

熊内低層配水池は大正8年(1919年)築で、すでに100年以上経過しており、老朽化が進んでいます。今後更新を予定していますが、更新後の構造は、必要な貯水量確保のため地上から数メートル立ち上がる構造となる予定です。

そのため現時点では配水池の上部を全面的に公園利用することは難しいと考えています。ただし、かわなみ委員からの指摘も踏まえ、部分的な活用など可能な工夫がないか検討していきたいと考えています。

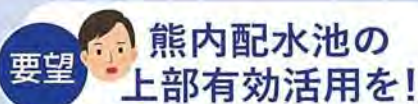
③ 熊内配水池の更新時期

【かわなみ】

その後の熊内配水池の更新はいつ頃着手予定でしょうか。

【水道局 橋上所長】

熊内低層配水池は令和14年度以降の着手を予定しています。



熊内配水池の
上部有効活用を！

少し先の計画になりますが、市街地では子ども、高齢者が利用できる 広場や憩いの場のニーズが高まっています。市街地にある配水池については、改修の際にはぜひ上部利用など土地の有効活用も検討していただくよう要望します。

災害給水拠点の最適配置と東遊園地の機能強化

令和8年3月5日 予算特別委員会 第2分科会にて【水道局】への質疑要約

【かわなみ】

現在、市内には約200箇所の応急の給水拠点が整備されているが、地域によって配置に偏りがあるのではないかと特に近年、マンション建設が相次ぎ人口が急増している三宮・元町駅の南側エリアにおいて、主要な避難場所である「東遊園地」に給水拠点が無いのは不安だ。配置基準の考え方と、新設の可能性について伺いたい。

【藤原 水道局長】

拠点は「半径2km圏内に1箇所」などを目安に配置しており、当該エリアは磯上公園の大容量貯水槽でカバーしている。しかし東遊園地が震災復興のシンボルであり緊急避難場所であることから、今後、給水施設のものが整備できないか調整したい。



令和8年1月18日に、山の手小学校で開催された【中央区総合防災訓練】に参加。ふっQ水栓の使用訓練や、給水装置の組み立て体験などにチャレンジ。



「2km圏内にあるか」よりも
「避難した場所で
水が出るか」が重要

東遊園地はシンボリックな場所であり、災害時には帰宅困難者の滞留も想定される。磯上公園まで行かなくても水が確保できる環境は安心感に直結する。公園部局など関係局としっかり調整を行い、給水機能を確実に付加するよう強く要望します。



(例) 災害時臨時給水栓

ふっQすいせん

画像：神戸市水道局HPより

災害時給水マップ
(中央区版) →

神戸市水道局の
ホームページから
ダウンロードできます



公園トイレチェンジアクション

令和7年12月8日 第2回定例会市会 【一般質問】での質疑要約
令和8年3月3日 予算特別委員会 第2分科会にて【建設局】への質疑要約

【かわなみ】

私(かわなみ)は、令和7年12月8日の第2回定例会市会、一般質問において、公園トイレチェンジアクションの効果を十分に発揮させるためには、ハード整備のみならず、清掃や維持管理の質の向上が不可欠であること、また価格偏重の契約にならない仕組みが必要であると指摘をいたしました。その際に、久元市長からも「安かろう悪かろうでは困る」と力強い答弁がありました。今回の予算内容で本当に質の転換が図れるのでしょうか。

【建設局 原局長】

清掃業務につきましては、現在、一般競争入札で事業者の決定をしており、価格を重視した設定となっています。その「安かろう悪かろう」とならないようには、清掃の質を担保できる仕組みの検討が必要と考えており、プロポーザル方式(※)の導入により、価格だけではなく、その事業者のノウハウを清掃作業に反映でき、質の向上が期待できると考えています。まずは中部建設事務所管内(中央区と兵庫区)において、清掃手法や、衛生管理技術などのノウハウを求めるプロポーザル方式による事業者公募の実施を考えています。令和8年度予算において対応することとしています。新たな試みを行い、その効果、課題を検証しながら、今後も引き続き清掃の質向上に取り組み、トイレの環境改善を図っていきたくと考えています。

神戸市では、公園のトイレを誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化や洋式化等による「公園トイレチェンジアクション」を推進、建設局の事業として予算化されています。



現在、神戸市では
152公園で、280棟のトイレが設置。
概ね週3回の頻度で
日常的な清掃が行なわれています。



プロポーザル方式を中部建設事務所管内で実施されると聞いて「**一歩進んだ**」と思っています。今までのトイレ清掃方法の仕様書(例：便座の汚れがとれていない等)の文章化も非常に難しいですし、民間の清掃業者の方が、洗剤なども含め色々なノウハウをお持ちだと思いますので、民間の力でキレイで気持ちよく使えるトイレを目指していただきたいと思います。

公園のトイレはキレイに使いましょう



プロポーザル方式とは…値段だけでなく
アイデアや技術を比べて選ぶ《企画提案方式》

JR元町駅周辺の再整備について

JR 元町

もとまち Motomachi

← こうべ

さんのみや →

令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

JR元町駅西口の再整備については、県庁舎の再整備と合わせて検討されると伺っております。元町駅西口の整備は県と市がしっかりと協調して取り組むことが重要であると考えます。元町駅西口の再整備については、県とどのように連携しながら進めていくのか、市としての御見解をお示しください。

※JR元町駅周辺の再整備については、令和7年9月17日、決算特別委員会 第一分科会でも都市局に質疑しました。

JR元町駅東口の バリアフリー化が決定

- エレベーター2基
- エスカレーター3基

工事着工／令和8年4月開始

工事完了予定／令和10年度中

※令和8年3月現在の予定です



【久元市長】

神戸市といたしましては、令和7年6月12日に元町駅周辺のリニューアルプランの検討に着手する旨を発表したところです。具体的な検討にあたりましては、ワーキンググループを設置し、地域のまちづくり団体の皆様や学識経験者、オブザーバーとしてJR西日本・阪神電気鉄道・兵庫県に参画いただきながら検討を進めることにしております。今後数回程度ワーキンググループを開催し、JRの高架下空間と一体となった「にぎわいの創出」につなげていくとともに、東口のバリアフリー化や県庁舎の再整備の動きと合わせて駅周辺の公共空間の再整備に向けた検討を進め、令和8年度末頃のリニューアルプランの策定を目指していきたいと存じます。



令和5年12月の
齋藤知事、久元市長への要望が
ようやく実現しました！

令和5年12月25日、令和5年度 兵庫県・神戸市調整会議において、私（かわなみ）は、当時、神戸市会副議長として出席。JR元町駅のバリアフリー化が1日でも早く実現されるように、県と市と一体となって取り組んでいただきたいと要望し、齋藤知事からも、久元市長からも前向きな発言を得ることが出来ました。その後、令和6年3月29日には、知事・市長連名による要望書がJR西日本へ提出されました。そして、令和7年6月12日、久元市長定例会見にて「JR西日本さんが、JR元町駅東口バリアフリー化を決定された」と、正式に公表がありました。

JR三ノ宮駅『新東口』の検討について

令和7年12月8日 令和7年度第2回定例会市会にて【一般質問】質疑要約

【かわなみ】

令和7年10月に、新バスターミナル周辺の再開発エリアの愛称が『神戸三宮ツインゲート』に決定したとお伺いしました。このエリアが今後さらに多くの人でにぎわい、まちとして発展していくためには、新たな東口、ツインゲート口の整備も重要な検討課題であると考えます。今後もJR西日本と連携しながら、新東口の実現に向けて取り組んでいく考えがあるのか、見解をお伺いいたします。

【小松副市長】

JR三ノ宮駅新東口は、平成27年9月に策定しました三宮周辺地区の再整備基本構想におきまして、中長期的なプロジェクトとして位置づけております。これまでもJR西日本に対しまして、新東口の検討を申し入れています。現在まちづくりの観点から、新東口の整備の可能性について、JR西日本と勉強会を実施しているところです。今後も引き続き、新東口を設置する位置をはじめ、JR三ノ宮駅と新バスターミナルとの分かりやすい乗換え動線の確保や利便性向上、さらには三宮駅東エリアのまちの活性化に向けた協議をJR西日本としっかり進めていきたいと考えています。

JR 三ノ宮

さんのみや Sannomiya

← もとまち

なだ →



神戸三宮TWINGATE（ツインゲート）は、新バスターミナルが出来るJR三ノ宮駅東側の再開発エリア（雲井通5・6丁目）の名称です。

要望



JR西日本さんの判断だけで実現するものではなくて、周辺のまちづくりやインフラ整備、費用負担の在り方など、行政や地域が主体的に関わる中でこそ形になるものだと認識をしております。あわせて、現在この周辺で事業を営まれている皆様が置き去りになることがないように、地域全体がともに発展していけるような配慮も欠かせないと考えております。神戸三宮ツインゲートの名にふさわしい拠点となるよう、市としても主体性を持って取り組んでいただきたいと思います。



何とか改善できませんか？

京橋ランプから 東行きの



渋滞

令和8年3月3日 予算特別委員会・第2分科会にて【建設局】への質疑要約

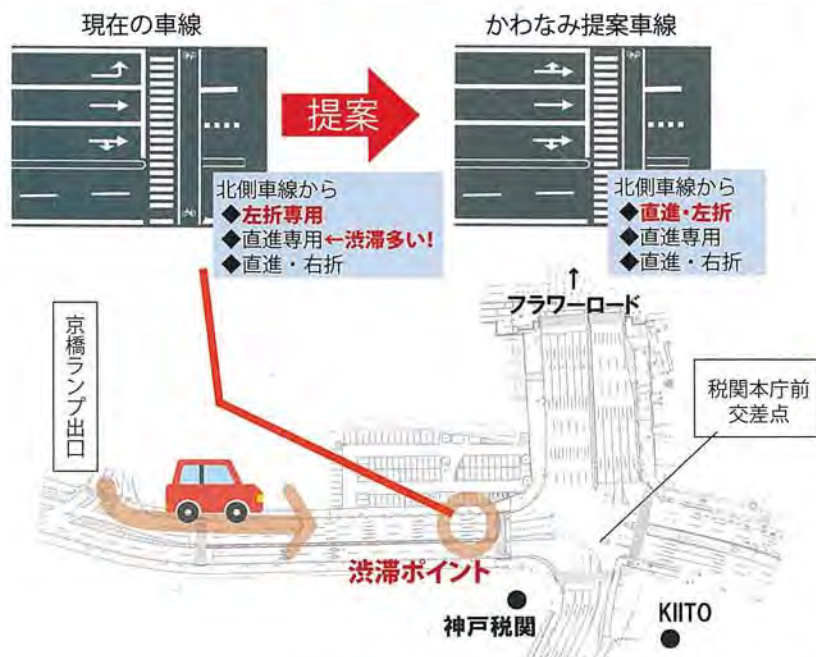
【かわなみ】

阪神高速神戸線の京橋インターチェンジを出て三宮やポートアイランドへ向かう場合、京橋ランプ出口を左折した先の「税関本庁前交差点」は3車線になっています。3車線あるものの、真ん中の車線に集中し、渋滞が発生し、車列が阪神高速本線まで伸びる状況も見られ、安全面からも問題があります。例えば「左折専用」を「直進・左折」に変更する、直進車の処理能力を高めるといった運用を行えば、渋滞緩和につながるのでは？と考えます。神戸市に、見解を伺いました。

かわなみ



令和8年3月3日 予算特別委員会



かわなみ
要望

この問題は神戸市だけで解決できるものではなく、警察や阪神高速など関係機関の理解が必要です。ぜひその機運をつくっていただきたいと思います。神戸を訪れた方にとっても、安全で分かりやすい交通環境にするため、警察との協議を進め、改善に取り組んでいただくことを要望します。

【建設局 武田副局長】

現在検討中の解消方法としては、交差点西側の道路線形を北側にシフトし、線形の不一致を解消することで、第3車線（直進・右折）を直進車が利用しやすくなり、渋滞緩和が期待できる、歩道整備により歩行者の安全性向上にもつながると考えています。かわなみ委員からの提案「左折専用」を「直進・左折」に変更する案についても一つの方法と認識しています。交通管理者（警察）と協議しながら検討していきたいと考えています。



机上の検討だけでなく、まずは実証実験（社会実験）を行うべきではないかと聞いてみました。

【建設局 北田道路計画課長】

警察としては、現在の第1車線（左折専用）を直進・左折に変更することについては「交通処理への影響」「交通安全上の課題」が生じる可能性を懸念していると聞いています。しかし、かわなみ委員からの提案のように、社会実験として一時的に車線運用を変更、効果や課題の検証し、本格実施を判断するという方法は考えられると思います。社会実験を行う場合は、「警察」「国土交通省」「阪神高速道路株式会社」など、関係機関との協議が不可欠です。今後、関係機関と連携しながら調整を進めていきたいと考えています。



かわなみ要望

フラワーロード東側の路上喫煙対策



令和7年12月8日 第2回定例会市会【一般質問】

現在、フラワーロード東側は路上喫煙禁止地区の対象外ですが、人通りが多く、路上喫煙やポイ捨てに関する苦情が多く寄せられています。今後はバスターミナルビルの整備により、新たな人の流れが生まれることも予測されます。路上喫煙禁止地区指定への検討にあわせて、喫煙所の整備や拡充など、喫煙者と非喫煙者の双方が快適に過ごせる環境づくりを要望しました。

繁華街への防犯カメラ設置



令和8年3月6日 予算特別委員会【危機管理局・消防局】

防犯カメラは市民の体感治安の向上に大きく寄与します。三宮の北側エリアは「客引き行為等禁止地区」にも指定されており、人流も多い。店舗が設置する民間カメラは場所の偏りがあり、警察からの画像照会対応も事業者の負担となっています。三宮周辺の繁華街への「神戸市カメラ」設置を一層進めていただくよう要望しました。

地震体験車「ゆれるん」の活用拡大



令和8年3月3日 予算特別委員会【建設局】

令和8年3月6日 予算特別委員会【危機管理局・消防局】

VR機能搭載の新型地震体験車「ゆれるん」は、視覚・聴覚を伴う非常に有効な防災教育ツールですが、車両の大型化（全長7.4m、高さ3.3m、重さ8トン）により、一部の公園や訓練会場に入れないケースがあると聞きます。活用機会を逃さないよう、会場搬入路等、施設面での改善を要望しました。

本紙記載の質疑内容詳細はWEBで詳しくお読みいただけます。お問合せフォームも下記QRコードからどうぞ。

かわなみ忠和

検索

神戸市会議員 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

発行：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
かわなみ市政報告vol.48／配達地域指定版 編集：2026年（令和8年）3月
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

かわなみただかす

《中央区》



うえなか 雅子



神戸市会議員 うえなか 雅子

第1回定例会市にて(令和8年2月25日)

北区で初めての自民党女性議員として神戸市会にお送りいただき、早や3期目の最終年を迎えました。

令和8年第1回定例会市に於いて、2月25日には予算特別委員会委員長に就任し、委員各位のご協力を得ながら、翌日から始まった予算審査の円滑な運営に努めています。

また、「大都市行財政制度に関する特別委員会」では副委員長を務め、自由民主党神戸市会議員団の代表として、党本部の指定都市行財政問題懇話会に出席し、神戸市からの国家予算に対する提案・要望を述べてまいりました。

令和7年4月18日には、念願であった神戸空港の国際線運航が開始され、チャーター便ではありますが、ほぼ定期便に近い就航がなされています。これによって市内の外国人宿泊者数は過去最多の100万人超となりました。

私に残された任期を、国際都市神戸のさらなる飛躍に繋がるよう、精一杯の働きをしてまいります。

「強靱で力強く、人間らしい温もりに満ちたまち」の実現 未来を見据えた循環型社会の創造と持続可能な大都市経営の実行

神戸市 令和8年度 予算の概要

1 強靱で力強いまちづくり

- 災害対応力の向上 (253億2,000万円)
- 救急医療体制の確保・強化 (72億8,160万円)
- 消防署の整備 (4億9,200万円)
・北神分署の改修等による北神消防署の整備など
- 子育て世帯への食を通じたつながり支援 (1億4,386万円)
- 農漁業者への支援 (1億3,274万円)
・スマート農機の購入補助(補助率1/2、補助上限200万円)など



2 人間らしいあたたかいまちづくり

- 高校生等の通学定期券補助 (25億4,982万円)
・公共交通機関の通学が著しく困難な中学校区に在住する高校生等への補助制度の新設など
- コワーキングスペースの拡充(北神) (2億896万円)
・子連れで利用できるコワーキングスペースを北神地区に新設
- KOBE◆KATSU(コベカツ)の本格実施 (18億5,900万円)
- 身寄りのないシニア世代への支援 (4,857万円)
- こども・若者ケアラーへの支援 (3,580万円)



3 グローバル社会に羽ばたくまちづくり

- 神戸空港の国際化への対応 (33億1,500万円)
- 道路ネットワークの強化 (31億6,568万円)
・国道428号線(箕谷北工区)のバイパス整備など
- 市内地域・観光資源への回遊性向上と活性化 (5億5,000万円)
・有馬温泉地域における人材確保策の推進など
- 旧北区役所跡地の再整備 (17億3,562万円)



4 海と山を感じる美しいまちづくり

- 駅周辺のリノベーション
鈴蘭台駅(30億2,722万円)、岡場駅 (3,800万円)
- 神鉄シーパswンの販売促進 (2億445万円)
- 広葉樹林の資源循環事業 (1億2,500万円)
・木材ストックヤードの拡充(しあわせの村)など
- 持続可能な里山再生事業 (8,000万円)
・五社駅前に里山に親しむ人材育成拠点を整備
(R8年度秋プレオープン、R9年度秋フルオープン)など



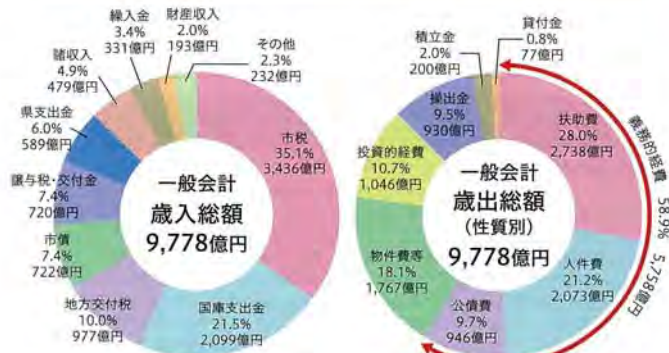
5 対話と参加が進むまちづくり

- デジタル技術を活用した市民サービスの向上 (4億7,447万円)
- 広域連携の取り組み推進 (22億2,524万円)
・北神・三田地域の急性期医療の確保・充実(済生会兵庫県病院と三田市民病院の再編統合)など



予算提案額の概要(予算の規模)

	令和8年度	令和7年度	増△減	伸率(%)
一般会計	9,778億円	10,059億円	△281億円	△2.8
特別会計	7,529億円	7,119億円	410億円	5.8
企業会計	2,839億円	3,152億円	△313億円	△9.9
合計	20,146億円	20,330億円	△184億円	△0.9



一般会計歳入予算の概要

一般会計歳出予算(性質別)の概要

令和7年 決算特別委員会

自民党会派を代表して、令和7年9月17日(水)、都市局へ約30分間、質疑を行いました。(議事録抜粋)

① 新たな住宅供給について

【質問】 植中雅子

8月の市長会見において、2030年までに5,000戸の新たな住宅供給が発表された。人口減少が進む本市において、良質でちょうどいい戸建て中心の住宅供給というテーマは、都市と郊外地、農村を抱える神戸のまちのポテンシャルを最大限に生かす積極的な施策と評価するが、他都市においてはタワーマンションが乱立しているように、駅近で便利なマンションへのニーズが多いように感じる。今回の戸建て中心の住宅供給を促進していく意義と、戦略について見解をお伺いする。

【答弁】 山本都市局長

暮らし方や住宅ニーズの変化への対応と、SDGsの推進などを市が積極的に実施するとともに、人口減少幅を少しでも抑制することが大切だと考えている。都市局と建築住宅局で新たにプロジェクトチームを組成し、様々な事業者に対してサウンディング調査を開始している。民間活力と投資を誘発しながら、住宅供給を計画的に安定的に進めていく。市の取り組みが呼び水となり、民有地での新築・建て替え需要を喚起するきっかけとなることを目指したい。

【再質問】 植中雅子

北区や西区においては、市域の中でも人口減少が特に進んでいる。都心への通勤だけを見れば時間がかかる面もあるが、価格面、住宅の広さといった優位性は確かにある。都心では提供できないような、ゆったりした平屋、農地、菜園付きの住宅などは、若者の多様なニーズに沿った住宅を供給できるのではないのか。

【答弁】 平岡都市局部長

平成7年7月に開催した住まいに関するシンポジウムでは、「神戸やらしにちょうどいい住まい」をテーマとして、住宅事業者から様々なご意見を頂戴し、郊外での多様な住宅供給の可能性を改めて認識した。市長の定例会見では、店舗付き住宅や、ゆったりとした平屋住宅などのイメージをお示しし、神戸のポテンシャルを生かした多様な住宅の供給の可能性について発信した。

今後の市有地を活用した宅地供給の具体化については、プロジェクトチームを中心にヒアリングを既に開始している。若者の多様なニーズにも沿った住宅供給につなげていきたい。

【要望①】 植中雅子

谷上駅や谷上のまちをどのように再整備していくか、都市局からもプッシュ型で地域の方たちとの話し合いを進めていただきたい。

【要望②】 植中雅子

神鉄の藍那駅前周辺の活性化について、藍那駅は、改修等の計画はないと聞いているが、目の前が道路で大変危険である。神戸電鉄と協力して活性化の取り組みを検討していただきたい。



② 都心・三宮再整備における障害者対応について

【質問】 植中雅子

都心・三宮再整備において、新バスターミナルビルやJR新駅ビルなど、様々な工事が進められている。

工事期間中の歩行者動線は日々変更されており、視覚障害を含めて様々な障害を抱える方々は大変困っていらっしゃる。

難病連の意見交換会の際、パーキンソン病を抱える方から、視覚に影響があって、看板等は下に設置したほうが見やすいというご意見を聞いている。車椅子の方も、

健康者に比べて下に設置したほうが見やすいと感じる。歩行者への影響が少ない工法の検討を行うことはもちろん、事前周知や、案内看板の設置の際には、障害を抱える方々にも情報が届くように工夫する必要があるのではないのか。

【答弁】 中原都市局理事兼都心再整備本部長

現在駅周辺で、大変大きな工事が複数同時進行しており、どうしても歩行者動線の切り替えが頻繁に発生せざるを得ない状況である。障害をお持ちの方への情報提供は、いろいろな媒体を使い周知を行っている。現地での迂回路の案内看板を掲出するのは当然だが、主要な分岐点などでの音声案内の設置、バリアフリー情報を地図上で共有できるアプリへの投稿やホームページの活用、障害者団体が参画しておられる神戸市バリアフリー推進会議での説明も行っている。

今回改めて、動線の変更がある場合、福祉局とも連携・協力し、様々な障害者団体や障害福祉サービス等事業者の方、障害者福祉施設などに直接情報を提供することにも取り組んでいきたい。

主要な分岐点などで、案内看板を設置する場合、地図を下のほうにあえて持っていくことにも工夫を加えていきたい。

③ UR都市機構との連携について

【質問】 植中雅子

神戸市と独立行政法人都市再生機構は、令和4年6月に包括連携協定を締結し、郊外団地の活用によるまちづくりや多文化共生、多世代交流の推進に関する事など、4つの連携項目を設定し、都心と郊外など市域全体でバランスの取れたまちづくりを推進している。北区のUR花山東団地は、全26棟1,250戸と大変大きな団地で、周辺エリアの活性化には、市とURが連携した取り組みが不可欠と考えられる。これまでの取り組みの成果と、今後はどのように展開していくのか。

【答弁】 山本都市局長

令和5年3月に花山駅のリニューアルを行い、新たな駅前広場が整備されたことを契機に、花山周辺エリアの活性化について、URとの協議調整を進め、URが斜行エレベーターと乗降広場の改修、市が歩道橋の補修・美装化など、連携してハード整備を行った。ALT(外国語指導助手)が多く居住しているUR花山東団地の特徴を生かし、令和6年度からは団地内の広場や花山駅前広場等において、ALTが参画するイベントを開催している。引き続き、URと連携し、UR団地の魅力向上はもとより、花山エリアにおけるにぎわいの創出や、地域の強みを醸成し発信することで、若者層に選ばれるまちとして、新たな住民の流入を促すようなエリアの活性化につなげていきたい。

【再質問】 植中雅子

花山東団地内で、菜園を目的にURに引越してこられた入居者の方が、使用を禁止され、非常に困っておられる。団地の活性化や、健康、フレイル予防にもつながるので、都市局に声をかけ、URの方と地域の代表の皆さんとで1回意見交換をさせていただいた。URの方は、管理外の場所だからけがをされても責任を負えないとの理由であった。1回の意見交換会で終わらず、住民の皆さんの意見を聞くなり、URとの交渉をするなり、都市局が進めていただけないか。

【答弁】 白井都市局副局長

当該地はまず、URが整備したのではないこと、水路等への転落の危険性、敷地内での倒木の危険性などが明らかになり、管理上の問題があるので、当該地への立入りは認められないということである。屋外での活動は、高齢者の生きがいやフレイル予防にもつながるので、改めて団地の価値向上につながる取り組みをさらに展開できないか、URに伝えていきたい。



自民党会派を代表して、令和7年9月19日(金)、交通局へ約30分間、質疑を行いました。(議事録抜粋)

① 交通局の企業理念について

【質問】 植中雅子

「移動(いつも)に感動を」とする企業理念を令和5年度に策定し、昨年度は職員に対してその浸透を図ってこられたと聞いている。交通局企業理念に込めた局長のお考えをお聞きしたい。

【答弁】 城南交通局長

お客様にとって移動というのは日常で、その日常に感動を与えられる企業になることを目指している。長い年月を経て、利用者の皆様にとっては、市バスや地下鉄があっけなかった。職員にとっても、交通局の職員であってよかったという、そういった思いの持てる企業でありたい、なりたいという思いを込めている。

企業理念を実現していくためには、全職員が企業理念を理解し、同じ方向に進んでいくことが重要だと考えている。企業理念の実現に向けて、職員の行動変容につながる取り組みを進めている。

【再質問】 植中雅子

企業理念の浸透、そして共感、行動変容を起こさせるため、これからどのような発信、取り組みを行われるのか。



【答弁】 城南交通局長

企業理念を浸透させていくために、策定に関わったプロジェクトメンバーが、職場ごと全職員に向けて説明する場を設けた。新しい職員、転入してくる職員に対しても、説明会を実施している。職員向けの冊子も配布し、いつも接することができるようにしている。令和6年度には、企業理念共感プロジェクトチームを立ち上げ、改めて私のほうからそのメンバーに理念の思いを伝えた。

② 市バス運転士の採用について

【質問】 植中雅子

全国的にバス運転士不足の状況にあって、路線の維持が困難となり、減便や路線廃止を招き、地域公共交通網にも影響を与えている。市バスの運転士不足を解消するため、名古屋市交通局では、大型二種免許未取得者を対象とした養成型の採用の実施を始めるとの報道を目にした。一時的に会計年度任用職員として採用して、業務時間で免許を取得させた後に、正規職員として受け入れる制度である。選考では面接や普通車の実技試験を行い、合格した人は翌年4月に会計年度任用職員として勤務し、6月までに市が指定する自動車学校に通って免許を取得し、面接を経て正規職員にすると聞いている。本市における現在の採用状況や、今後の採用方針についてお伺いする。

【答弁】 城南交通局長

定期的に採用を行っており、総人数は何とか確保できている。将来にわたり事業

を継続していくためには、若い方の採用が重要であるが、受験者の6割が40代を占めており、10代から20代の受験者は1割にも届かないという、非常に厳しい状況である。大型バスの運転に必要な大型二種免許の保有者が年々減少、かつ高齢化しているというのが背景にある。

令和5年度から、採用選考の合格者に対して、免許取得にかかる費用を交通局が負担する制度を拡充した。

具体的には、**大型二種の免許を持ってもらえない方を、会計年度任用職員に採用し、交通局が指定する教習所で大型二種免許を取得していただき、一定の技能水準をクリアすれば、会計年度から正社員に身分変更して雇用していく、養成枠を導入していきたい。**

③ 市バスのバス停の施設について

【質問】 榊中雅子

谷上駅には、駅前空間をより豊かにするために、六甲山の間伐材を利用したまるたベンチを設置している。交通局においても、六甲山の間伐材を活用した、訪れた人が座ってみたいようなベンチや上屋等を設置し、特徴のあるバス停整備を検討してはどうか。

【答弁】 城南交通局長

現在は、環境に優しいリサイクルウッドを使用した製品を選定している。地域の特徴を生かしたバス停の整備については、有効な設置の方法も含め、事例研究を進めていきたい。まずは、現在進めているベンチ未設置箇所の整備について、スピード感を持って進めていきたい。

【再質問】 榊中雅子

バス停の不具合や情報提供システムについて、神戸市公式LINEにおける、市民からの情報提供をいただける仕組みでは、道路と公園は出てくるが、交通は出てこ

ない。バス停設備等も対象として、積極的に情報収集に努めるべきではないか。

【答弁】 児玉交通副局長

1,425か所のバス停全てを、日常的に把握するのはなかなか難しい。現在は、市民からの電話、メール、バスに載せているお客様はがきで情報を提供いただき、対応している。バス停にQRコードを展開するという方法も、所管局とも相談し、LINEを使ってより多くの情報をいただくような工夫をしていきたい。

【再質問】 榊中雅子

バス停への停車は、バス停へ寄せ過ぎると接触の危険が高まるが、難病連の意見交換会の中で、バス停との間に隙間があると非常に乗りにくいという苦情を聞いている。乗降位置については配慮した停車をお願いできないか。

【答弁】 児玉交通副局長

乗り降りしやすい状態でバス停におつけするというのは重要だと考えている。具体的には、運転士の運転技量をしっかり上げていく。

【要望1】 榊中雅子

次世代太陽電池として期待される、**ペロブスカイト型太陽電池**をバス停の上屋に整備することも、実証実験していただきたい。

【要望2】 榊中雅子

北神急行の市営化により運賃の低減が行われ、利用者は大変喜んでいる。有馬の企画乗車券発売は、北神地域活性化には寄与しているが、依然として、谷上駅の拠点化というよりも、通過点となっている感がある。

北区の玄関口と言われる谷上駅は、谷上駅周辺の活性化に資する**市バス64系統2ルート化**が実現されたが、まだ利用される方が少ない。利用実績に応じたプレゼント企画や、利用者への直接的インセンティブも考えていただきたい。



自民党会派を代表して、令和7年9月22日(月)、建築住宅局へ約30分間、質疑を行いました。(議事録抜粋)

① 低未利用地を活用した住宅供給について

【質問】 榊中雅子

これまで建築住宅局では、市営住宅再編に伴う余剰地を民間に売却し、住宅供給につなげてこられたと承知している。北神エリアで実際に供給された住宅の全体像、例えば戸数や種類、供給主体などについて、直近の状況をお聞かせいただきたい。

【答弁】 根岸建築住宅局長

10年ごとにマネジメント計画を策定し、市営住宅の再編・改修に取り組んでいる。これまで北神エリアでは、淡河住宅、大池住宅、唐櫃住宅、唐櫃台住宅で事業を行っており、今後、有馬第二住宅、唐櫃第二住宅、塩田住宅で事業着手する予定である。

市営住宅再編により生じた余剰地について、建物の解体撤去、宅地整備を行った後、庁内で活用されない用地については、一般競争入札により売却している。北神エリアにおいて、売却した余剰地については、戸建住宅のほか、高齢者福祉施設、小売店舗などが建設されている。住宅関係については、西大池においてハウスメーカーにより供給された戸建住宅が、この10年で191戸になる。また、サービス付き高齢者向け住宅2棟181戸が建設されている。

【再質問】 榊中雅子

市長からは、人口減少時代を踏まえると、大規模マンションよりも木造戸建や小規模マンションの供給に力を入れると発言があった。北神エリアのまちの魅力を保ちながら、どのような方針で進めていかれるのか。また、民間事業者との連携や市有地活用の在り方など、具体的にどのような取り組みを進めていくのか。

【答弁】 根岸建築住宅局長

郊外を中心に点在する低未利用の市有地ないしは市営住宅の再編余剰地など、市有地を活用した宅地供給を進めていく予定である。都市局と連携してプロジェクトチームを立ち上げており、市内事業者をはじめハウスメーカー等へのヒアリングを開始している。

【再再質問】 榊中雅子

人口減少を抑えていく上で重要なのが、子育て世代の定住促進だと考える。直近で供給された住宅の中で、子育て世代が比較的手の届きやすい価格帯で購入、入居できる住宅がどの程度あったのか、今後予定されている供給計画について、子育て世代に寄り添った住宅を確保していく方針はどのように位置づけられているのか。

【答弁】 根岸建築住宅局長

北神エリアにおいて、大池住宅の跡地では、戸建住宅は191区画供給されており、2023年の分譲事例では、延べ床が35坪、4LDKの物件の販売価格が3,380万円と、子育て世帯にとっても比較的手の届きやすい価格帯で分譲されている。北区はほかの区と比べ、子育て世帯の割合が高く、土地の面積や価格面などからも、現在も子育て世帯からのニーズが高いと認識している。

② 適切な管理が行われていない空き家・空き地への指導と勧告の運用について

【質問】 榊中雅子

建築住宅局として、管理不全空き家等と特定空き家等に対して、指導と勧告をどのように使い分けて、より実効性のある空き家対策を進めておられるのか。

【答弁】 今井建築住宅局副局長

全国で増加する、空き家が特定空き家になる前の早い段階から、適切に管理されるよう、法改正で管理不全空き家が新たに規定された。法改正後は特定空き家としてきたもののうち、周辺の悪影響が比較的軽度なものを管理不全空き家として、指導を行っている。

令和6年度は、過去最多の149件の指導を行った。特定空き家の勧告数は、令和4年度までは大体3件から5件程度で推移しているが、令和5年度以降は10件以上の勧告を行うなど、危険な空き家への対策を強化している。令和6年度は26件の勧告を予定していたところ、厳しい指導と、所有者の課題に応じた助言や支援制度の案内により、12件が勧告の前に改善した。それでも改善に至らなかった14件については、勧告を実施している。周辺に悪影響を与える空き家になる前に、できるだけ早い段階でいかに所有者に自主的な対応を後押しするかが課題となっている。広報・啓発によって所有者意識を高めていきたい。

【再質問】 榊中雅子

管理不全の空き家等への勧告制度の効果と本市の活用方針について、管理不全空き家等に対して勧告を実施した場合、所有者の具体的な対応として、どのような行動変化が期待できるのか。それに伴う周辺環境の改善や、地域の安全・安心への影響について、どのように評価されているのか。

【答弁】 今井建築住宅局副局長

法改正により、特定空き家に加えて管理不全空き家として勧告された場合でも、住宅用地特例が解除され、**土地の固定資産税が約3倍程度増えることになった**。勧告の実施による固定資産税の上昇を避けたいという所有者の意識が、適切な管理の行動変容として現れ、その結果、改善につながることを期待される。

管理不全に対する勧告については、その勧告自体が目的ではなく、**所有者が自ら適切に管理を行い、改善していただくことが非常に重要**と考えている。勧告の前段階から指導を行う際に、勧告後に及ぶ影響を所有者に知らせることによって、早期改善につなげていきたい。

【要望】 榊中雅子

特定空き家等で指導し、勧告、公表、命令して代執行と、順番に進んでいく。スピード感を持ってやっていただきたい。地域のお願いとして切に要望する。

③ 坂のまちエリアリノベーションについて

【質問】 榊中雅子

令和7年度から都市局とともに、鈴蘭台駅エリアなど5エリアを指定して、まちの景観や歴史などの地域資源を生かした、新たな取り組みを進めると聞いている。坂のある独特の地形や細い路地といった地域特性を逆に魅力とし、空き家をリノベーションして、住居や店舗、交流拠点などへと活用している好事例も生まれつつある。

一方で、空き家が発生しやすく、老朽化や維持管理の困難さ、所有者不明といった課題も少なくない。坂のまちエリアリノベーションにおける空き家課題について、都市局とどのように役割分担し、どのような具体的な連携の下で取り組んでおられるのか。

【答弁】 根岸建築住宅局副局長

高台からの景観や神戸らしい風景など、愛着や肯定的な意見が寄せられる一方で、道幅が狭く、階段が多い、宅地にのり面や擁壁がある、平地と比べて建築や解体施工が難しい場合があるなど、空き家の解体・建て替えが進みにくいとの声がある。

5地区の指定エリアにおいて、エリア内あるいはその周辺や地域資源の活用、並びに複数の空き家・空き地の面的な活用条件で7月から申請受付を行っている。12月の募集期限まで引き続き本事業の周知を図り、活用促進を促したい。

申請事業推進のためにも、各部局の目線からアドバイスをを行うなど、坂のまちエリアにおいて、民間事業者の提案による事業促進を図ることで、官民連携による地域活性化へつなげていきたい。

【要望】 榊中雅子

自民党が、令和7年度の神戸市予算に対して提出した要望書において、市民や事業者に向けて、断熱化による健康面、経済面のメリットを広く周知するとともに、国の補助制度をしっかりと活用できるように、広報を強化するよう要望している。引き続き、**住まいの断熱化推進**を要望する。



神戸空港発の第1便で台湾へ

2025年4月18日、神戸空港第2ターミナルから午前11時発の第1便で、桃園空港に向かいました。

この記念すべき便には、1週間前に台湾からご来神の21名の日本神戸友好交流訪問団（新北市議、基隆市議、事業者）の皆さんと共に、私達日台友好神戸市会議員連盟が同乗させていただきました。

到着した桃園空港では、蘇桃園市副市長を始めとする行政や議員の皆さんの心からの歓迎を受けました。

チャーター便の就航により、さらに近くなった台湾との良好な関係の構築を目指し、神戸のさらなる経済発展につなげてまいります。

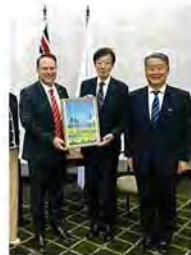


姉妹都市40周年のオーストラリアブリスベン市視察

2025年7月22日、久元喜造神戸市長、菅野神戸市会議長、私達日豪友好神戸市会議員連盟は、同行の企業団の皆さんと共に、ブリスベン市役所を訪れ、エイドリアン・シュリナー市長を表敬訪問し、姉妹都市40周年を迎えた両市のさらなる交流の発展に努めました。

「多文化共生セッション」での移民や難民の教育、生物多様性関連施設「カラワサ・フォレスト」での自然環境局の防災・防火対策、カーボンニュートラルを目指し、ソーラーシステム化に力を入れるエネルギー政策等々、多くの学びを神戸市政に活かしてまいります。

「生物多様性にかかるブリスベン市×神戸市セミナー」では、久元喜造神戸市長自らが、「里山保全・活用・OECM」をテーマにプレゼンテーションし、神戸の活動紹介もされていました。



大都市行財政制度に関する特別委員会副委員長として

2025年11月20日、自由民主党の指定都市行財政問題懇談会に出席し、14項目の「神戸市からの国家予算に対する提案・要望」の中から「国際定期便就航に向けた神戸空港の機能強化に対する支援」と、「広域幹線道路ネットワークの機能強化として、大阪湾岸道路西伸部の事業推進」を要望しました。



2024年8月12日、2025年度の神戸市の国家予算に対する提案・要望を、高市早苗衆議院議員にお渡ししました。



お知らせ

神戸電鉄 藍那駅駅舎の美装化工事を実施

工事期間

2026年3月10日～2026年3月27日（予定）

藍那駅は、乗降客数120人/日と沿線最小で、地元の方の他、主に藍那小学校児童が通学のために利用しています。

駅舎は老朽化が進んでおり、外壁や改札周辺の雰囲気も暗い印象となっているため、神戸電鉄が駅舎の美装化工事を行い、神戸市が補助支援します。一部、地域協働スペースを設け、沿線の活性化に寄与します。



新北区文化センターの整備

令和9年10月頃の供用開始に向けて、新北区文化センターや新北図書館の建設工事を引き続き進めます。



建設事務所の新設

市民通報対応の迅速化や防災体制の強化による現場対応力の向上を図るため、北区において、令和9年度の運営開始に向けて新たに2つ目の建設事務所を整備します。



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。
自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市会議員 瀬区

吉田健吾
よし だ けん ぞ



神戸市政報告

瀬区版

2026.03
vol. 24

発行日 ● 令和8年3月11日
発行元 ● 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846 <https://jimin-kobe.com/>

2025年12月5日
本会議 委員長報告

令和7年4月18日に神戸空港が国際空港化されました。かつて国が計画をした神戸沖の関西新空港建設は世論を二分し、昭和48年の市長選挙において建設反対の立場であった現職市長が勝利しました。

そこから阪神淡路大震災もありましたが、神戸経済にはやはり空港は必要であるという経済界や神戸市会の中の声があり、平成18年に神戸空港が開港され、その後様々な取り組みの結果この度の国際空港化

に至ります。神戸空港は関西国際空港と伊丹空港を補完する空港とした位置付けがなされ、神戸以西の新たな航空需要を喚起することも期待されています。慶応3年に開港して以来、今年度は第二の開港であると考えています。日本の中の神戸だけではなく、世界の中で神戸が存在感を放つことが日本全体の活力にも繋がります。新たな国際都市としての神戸市がより発展するように取り組んでまいります。

令和8年度神戸市の予算

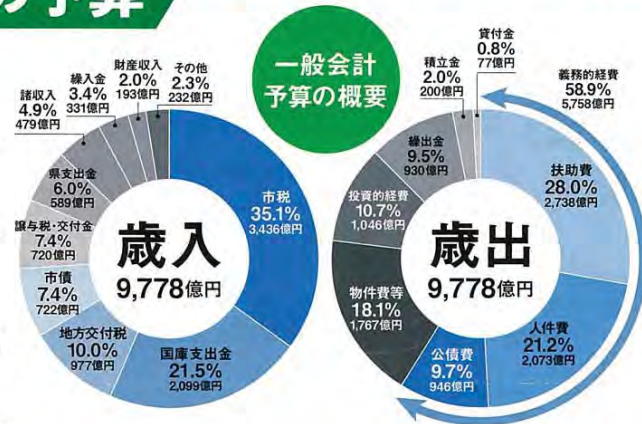
海と山が育むグローバル貢献都市の実現

予算総額 2兆146億円
(前年度比:-184億円)

一般会計 9,778億円 (前年度比:-281億円)
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

特別会計 7,529億円 (前年度比:+410億円)
国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

企業会計 2,840億円 (前年度比:-313億円)
バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。



市民1人あたりの行政コスト

一般会計の支出を市民一人あたりにすると

66万円になります

住宅・まちづくりに
約2.7万円



道路・公園等の整備に
約3.4万円



産業の振興に
約0.8万円



消防・救急に
約1.8万円



区役所などの運営に
約6.5万円



市債の返済に
約6.4万円



福祉の充実に
約27.8万円



教育・文化の振興に
約11.6万円



環境・衛生の向上に
約4.8万円



※令和7年12月31日時点の住民基本台帳に基づく人口1,486,157人で算出しています。※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

自由民主党
神戸市会議員団・無所属の会

吉田健吾の動かす力

2025年、神戸をもっと良くするために、吉田健吾がどこで誰と何を動かしてきたのか。党派や役職の枠を超えて、現場の課題を形にしてきた「活動の記録」をまとめました。これからの神戸をどう変えていくのか、神戸市民からの一問一答形式で等身大の言葉をお届けします。



▲2024年11月8日外郭団体に関する特別委員会にて議事進行

Q1 スポーツのチカラで動かす!

こんにちは、吉田さん!

神戸市会にはスポーツ議連という

議員連盟があると伺いましたが、

スポーツ議連とは何ですか?

具体的に何をされているんですか?



吉田 「スポーツ推進神戸市会議員連盟」は、超党派でスポーツ全般を応援するために設立されました。独自の表彰制度を設け、全国大会等で活躍した方々を議場に招き、その成果を讃える活動を続けています。「する・みる・ささえる」スポーツの力で、市民の皆さんの心身の健康と街の活力を高めていきます。

(写真は2025年12月24日スポーツ推進神戸市会議員連盟第14回優秀選手・団体表彰の様子)



Q2 税金の使い道を正して動かす!

6月に「外郭団体の改革」について報告されていましたよね。

そもそも

外郭団体って何ですか?

私たちの税金がどう守られるのか、伺いたいです。



吉田 神戸市の外郭団体は、市が25%以上出資する28団体で、柔軟な市民サービスを担っています。かつては64団体ありましたが、民営化や統合等の見直しを継続。市会の特別委員会では令和6年から委員長を務め、無駄がないか、民間との役割分担が適切か厳格に審査しています。今後も市政最適化へ向け、議会から注視します。(写真は2025年5月30日外郭団体に関する特別委員会の様子)



Q3 瀬戸内の連携で動かす!

12月に瀬戸内の10都市で新しいグループを作ったとか。

広島や岡山など10市の議会が

参加する大きな組織ですが、神戸がこの連携を強めていくことには、どんな戦略があるのですか?



吉田 昨年4月に国際化された神戸空港は、関西三空港の需要を補完し、さらには神戸以西の需要にも対応する重要な役割を担っています。そこで、日本を代表する名所である瀬戸内海の魅力をより一層高めるため、沿岸10市の議会が連携する連盟を設立しました。観光コンテンツを充実させ、各地の魅力ある観光地と神戸空港を強く結びつけることで、空港の強みを最大限に引き出し、活性化を図っていくのが狙いです。



決算特別委員会についてはナカ面をご覧ください。➡

9.10
2025

令和7年度 決算特別委員会

福祉局



1. 災害時要援護者支援について



近年、神戸市内では大きな災害が発生していませんが、備えをジブンゴトと捉える意識が不可欠です。本市では条例に基づき約26万人の要援護者リストを作成していますが、地域への提供が進んでいるのは全192地区のうち76地区です。個人情報の壁や担い手不足が壁となっていますが、万が一の際、周囲が「誰が情報を持っているか」を知ること協力が体制も重要です。より実効的な支援に向け、若い世代の参画や運用の工夫が必要です。

個別対応で丁寧に

2. 障がい児(者)の計画相談支援について

障がい児の計画相談導入率が低く、セルフプラン利用者が多い本市。複雑な制度下で孤立し、支援から漏れる方が出てはなりません。初回利用時や転機に、必要な支援を適時選択できるよう、一歩目のサポートを期待します。

さらに強化へ



3. 障がい者の就労支援・開拓員について

令和6年4月の法定雇用率引き上げに伴い、対象事業主も拡大されます。市は「障がい者雇用推進員」を配置し、未達成企業490社への訪問を終えましたが、ゼロから関係を築くのは困難であり、今後は銀行、信用金庫、保険会社や経済団体など地域の実情を知る民間の人的ネットワークや知見を積極的に活用し、仲間を作る観点で取り組むべきです。



また、週20時間未満の「超短時間雇用」は、フルタイム就労が難しい方にとって現実的な選択肢であり、このノウハウを横展開すれば、ひきこもり状態にある方の社会復帰や、高齢者の健康増進・活躍の場づくりに繋がります。誰もが活躍できるまちの実現に向け、実効性ある取り組みが重要です。

民間企業のご協力を

◀2025年9月10日
決算特別委員会
福祉局へ質問

自由民主党

神戸市議員 灘区

吉田健吾

神戸市政報告



令和7年度 決算特別委員会

水道局

9.16
2025

1. スマートメーターの導入に向けて



将来の人手不足を見据え、自動検針の切り札であるスマートメーター導入が急務です。コストや電池寿命等の課題に対し、電力会社との共同検針や地域特性に応じたAMR方式の活用など、柔軟な検討を進めるべきです。1つの方式に拘らずベストミックスという考え方も持つべきです。

国動向注視

2. 再生可能エネルギーの活用に向けた現在の取り組み状況

水道管の流圧で発電する小水力発電や太陽光発電等の活用状況を把握し、更なる再エネ活用の推進を願います。

積極的に



3. こども向け広報の充実について

裏側体験ツアー等の好評な取組を継続し、科学館閉館後も体験の場を確保すべきです。広場の暫定活用や探究学習への対応など、こどもの興味を引く広報の充実を期待します。



出典: KOBE WATER LABO

努力していく

4. 水道局用地の活用について



水道局の遊休地は、地域の未来を創る貴重な共有財産です。例えばラグビー日本代表の李承信選手も水道施設の上部利用をした公園で技を磨いたように、スポーツ広場としての暫定利用など、次世代を育む柔軟な運用を検討すべきです。単なる売却益の確保に捉われず、土地を宝の持ち腐れにしない、既存の枠組みを超え、今の市民ニーズや暮らしの実情に即した、具体的に実効性のある用地活用の仕組みづくりを期待します。

検討

5. 国際貢献の取り組み



神戸の優れた水道技術を活かし、海外の課題解決に貢献する国際協力を推進すべきです。単なる技術支援に留まらず、現地の環境改善を通じて市内企業の海外展開や神戸の存在感向上に繋げることが肝要です。国際貢献都市として、官民連携による戦略的視点で、世界の水環境と神戸の未来を共に拓く具体策を講じることが必要です。

地元企業支援

9.12
2025

令和7年度 決算特別委員会

健康局



1. 歯科口腔保健の推進について

① フッ化物洗口の拡充について

小学校でのフッ化物洗口が本格化しました。本市では選択制家庭洗口と学校集団洗口の併用ですが、子どもの健康を守るため集団洗口を実施する重点校の拡大が急務です。教育委員会とも連携をして拡大することを期待します。



推進へ

② 国民皆歯科検診に向けた節目検診の拡充について

受診率が低迷する中、全身の健康に直結する口腔ケアの重要性を発信し、多忙な「働き世代」が受診しやすい環境整備と周知の強化が必要です。国民皆歯科健診を見据え、節目検診の拡充をするべきです。

30歳拡充

2. 災害対策について

災害急性期の医療確保に向け、神戸市医師会が救護チーム「D-KOMET」を発足しました。今後、訓練の充実や、避難所の備蓄拡充を急ぐべきです。また、通信途絶時を見据えた災害拠点病院等への「スターリンク」配備も不可欠です。現場の声を活かした、実効性ある備えを提案します。



各区訓練で

3. 地域ネコ活動と公園管理について

地域ネコ活動の理解促進へ広報紙等での周知を。マナー違反を防ぎ、公園管理者との連携強化を図ります。



検討

4. 食育・こども食フレの充実について

不登校と栄養不足の関連性等、専門知見を「こども食フレ」で発信し、保護者への普及と食育の充実を提案します。



充実へ

5. アピアランス支援について

がん治療等による外見変化を補う「アピアランス支援」の認知度は、調査で約2割と低迷しています。患者や家族が抱える精神的・経済的不安に寄り添うため、この「生の声」を施策に反映すべきです。ウィッグ助成の利便性向上や相談体制の強化など、誰もが自分らしく過ごせる支援の拡充を検討願います。



改善へ

自由民主党神戸市議員団・無所属の会

令和8年度予算要望を提出

12.14
2025

吉田健吾の予算要望 (抜粋)

①【防犯】最新AIで街の安全を強化!

AIでカメラ映像を分析し、犯罪抑止やルール違反の特定に役立てるよう要望しました。

②【防災】避難所の鍵渡しで「命」を守る

災害時に住民が自ら避難所を円滑に開けられるよう、鍵渡しと訓練の予算化を要望しました。

③【教育】不登校の学びを孤立させない!

学校外でも専門家が寄り添い、どんな場所でも学びを諦めなくてよい環境づくりを要望しました。

④【子育て支援】療育の「待ち」をDXで解消

児童発達支援をデジタル化し、相談から療育まで滞らない体制を最優先で築くよう要望しました。

⑤【スポーツ】新スタジアムで市民も気軽に

王子公園の新スタジアムは専用利用以外の時間帯、市民も気軽に利用できる機会の確保を要望しました。

⑥【お墓】将来の不安を柔軟な仕組みで解消

合葬墓に期限付き契約を導入するなど、市民の不安に寄り添う新しい供養の形を要望しました。

⑦【食・農業】地産地消で自給率アップ!

地元産品のブランド力を活かした地産地消を進め、食の安全と自給率向上を要望しました。

⑧【六甲山】登山道のトイレや道標を整備

登山客の増加に応え、トイレの高度化や道標整備など安全な山登りの環境整備を要望しました。

⑨【レジャー】山上交通をもっと便利に!

六甲・摩耶山へ気軽に往けるよう交通の便を改善し、自然を健康に活かす仕組みを要望しました。

⑩【街づくり】王子公園から地域を元気に!

再整備を機に周辺へ民間投資を呼び込み、新しい賑わいと地域の価値を高めるよう要望しました。

⑪【防火】狭い路地裏の火災対策を万全に

消火栓・消化ボックスを増設し、消防車が入りにくい地域でも火災から命を守る体制強化を要望しました。

⑫【土地活用】水道用地をスポーツ広場に

余剰地を売るだけでなく、練習場など市民の活動の場として貸し出す柔軟な運用を要望しました。

⑬【交通安全】六甲駅前の混雑を解消!

バスや車両が輻輳する駅前の動線を再整理し、歩行者が事故に遭わない安全対策を要望しました。

⑭【福祉】障がい者の「働く」を全力支援

障がいがある方も地域で自立して働けるよう、企業への啓発や相談体制の強化を要望しました。



要望全文

令和8年度予算案を審議する2月議会が開催されています。人口増加時代とは違った価値観が求められる現代において、行政運営でも前例踏襲ではなく今までにない発想や手法が必要になります。令和8年度は「神戸市基本計画」「神戸2030ビジョン」の初年度になります。経済指数、

人口指数、幸福度指数で基本計画にKGI(最終目標)が設定され、ビジョンにおいてKGIの達成につながるKPI(通過点)も設定されています。この目標を達成していくためにも、大胆な発想による施策展開になるよう議会活動をしてまいります。

第6次神戸市基本計画



2026 3.12 令和8年度予算特別委員会 総括質疑

録画
中継



議事
録



2026年3月12日
予算特別委員会にて総括質疑

【要望】地域区分の見直しについて

地域区分の見直しによる報酬引き下げ施設について市独自支援をしたことを評価。今後も国への要望継続を求めます。



全市一丸で

1. 観光施策の都市間連携について



神戸空港活性化のため、近隣都市との広域連携強化を提案します。瀬戸内や国内就航都市と連携した周遊ルートの確立を急ぎ、本市が広域観光のハブとして機能し、エリア全体の価値が最大化

されることを期待します。

桜マップの
実現を

2. 市内防犯カメラの充実・犯罪防止について

直営設置の推進を評価。AI等の最新技術活用を提言しました。子どもや高齢者が安全に暮らせる実効性ある防犯体制の構築を期待します。



公園
トイレなどに
重点を

3. KOBE◆KATSUのより良いスタートについて



令和8年9月の開始に向け、生徒が多様な活動を選択できるよう教育委員会主導の紹介機会創出を提案しました。教員の負担軽減を図りつつ、一人でも多くの生徒がスムーズに参加できる

環境整備を期待します。

コベカツポイント
使ってください

4. 学習用端末のiPadへの更新について

iPadへの更新を機に、直感的な操作や多様なサポート機能を最大限に活用した新たな学習方法の確立と授業改善を提案しました。



授業改善に
期待

5. HAT神戸の活性化・海沿いランニングコースについて

HAT神戸から各拠点を繋ぐ連続的なコース整備と案内表示の統一を提案。魅力的なランニング環境の構築を働きかけました。



海沿いの
景色を
活かして

6. 災害時の在宅避難への支援について



マンション居住者等の在宅避難者が、避難所へ登録することで物資や情報支援を受けられる仕組みの周知を提案しました。誰もが安心して避難生活を送れるよう、実効性のある被災者支援体制の

構築を期待します。

あらゆる
想定を

7. 公職選挙候補者に対する選挙妨害について

民主主義の根幹である選挙を守るため、妨害行為が生じないよう関係機関と密に連携し、自由な活動環境の確保を提案しました。



明るい選挙
推進

8. 資源循環型社会の実現について



ビール醸造で出る麦芽搾りかすの肥料化など、資源循環の枠組み構築を提案しました。実用化への課題解決を働きかけるとともに、環境配慮型商品の開発・PR促進を通じて持続可能な循環型社会の

実現を強く期待します。

次の時代の
ために

9. 小学校給食の充実について

給食費無償化に合わせ、地産地消の推進やおかずの質や量に関する工夫など子供の満足感を高める給食内容の更なる充実を期待します。



安全・安心・
満足

令和8年度予算案ならびに関連議案について意見表明を行いました

3月16日に行われました予算特別委員会で意見表明があり、自由民主党神戸市会議員団・無所属の会は令和8年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計64議案について、要望20件を付して承認しました。

要望事項(抜粋) ● 防犯カメラによる犯罪予防効果を高めるため繁華街や公園トイレ周辺への設置強化とAI不審者検知機能を導入すること。● ごみ焼却施設整備において広域的なリーダーシップを発揮すること。● 海外との都市間交流においては、神戸経済の活性化につながる経済連携を深めること。● KOBE◆KATSUを円滑に開始すること。● 話せる英語教育の底上げを全市で図ること。(その他合計20項目)

2026 3.3

令和8年度
予算特別委員会

交通局

録画中継



議事録



1. 公営バス事業としての経済活動の境界線について



写真提供: 神戸市交通局

市バスだけで全域網羅は不可能です。経営健全化団体への指定回避を喫緊の課題としつつ、民間と競うのではなく官民連携で「市民の足」を守る持続可能な交通体系をデザインし、経営基盤を再構築するよう提案します。

官民連携
強化へ

2. 市営地下鉄の持続可能性に関する認識について

① 事業継続性に対する分析について

人口減少という荒波の中、将来世代に負の遺産を残さない経営が不可欠です。徹底した効率化による事業継続に心血を注ぐべきです。

持続可能な
経営へ

② 市営地下鉄海岸線の将来ビジョンについて

駅の無人化やAI活用の研究などを推進し、これまでの延長線上ではない、身の丈に合った経営への抜本的な改革をすべきです。

積極的に



3. 保有資産収益化に向けた戦略的転換について



写真提供: 神戸市交通局

駅を単なる通過点から「目的地」へ。縦割りを排し、駅直結マンションや車両基地での体験型店舗など、交通局自ら人の流れを創り出すべき。人口減少の荒波の中、従来の延長線上ではない戦略的転換を期待します。

最大限の
努力を

2026 3.4

令和8年度
予算特別委員会

都市局

録画中継



議事録



1. 新たな住宅供給について

新築供給と空き家対策を、街を支える両輪とする質の転換が重要です。駅近への住み替え支援やスポンジ化の抑制など、住み替えの循環により、神戸の暮らしの質と持続可能性を高めるよう提言します。



スポンジ化
対策を

2. 住宅供給にかかる入札について

市有地売却の入札において、中長期的な市のまちづくり方針のもとで、市場ニーズを的確に捉えた公募条件への改善を求めました。

早期に
住宅用地供給を

3. 都心三宮再整備について

新バスターミナル整備は神戸の玄関口としてⅡ期以降も遅滞なく進めるべき。変化を実感するスピード感とエリアの価値最大化を願います。

JR 三ノ宮駅
東口も要望

4. 交通施策のグランドデザインについて

バス路線再編や高齢化により交通空白地対策が求められます。局の垣根を越え縦割りを打破し、地域の足を守るために従前からの施策に拘らず、地域負担に頼らない交通政策が実施されることを期待します。

写真提供: 神戸市

次期計画へ

5. 新たな産業団地の整備について



2029年の完成を待たず、稼働を見据えた計画的な企業誘致が不可欠。脱炭素、水素利活用などスマート団地の強みを活かすべき。

着実な
準備を

6. HAT神戸の活性化について

王子公園の大学開校を追い風に若者が集い交流する仕掛け作りと回遊性の向上を求めます。ミュージアムロードを軸に関係各局が連携し、エリア全体の価値を最大化する攻めのまちづくりを願います。



特色ある
エリアへ

2026 3.9

令和8年度
予算特別委員会

建築住宅局

録画中継



議事録



1. 分譲マンションの管理状況の届出について



届出義務化を機に、建物管理に対する意識醸成と制度周知を求めました。手続きにハードルを感じる組合へ出張サポートや専門家派遣等、プッシュ型の支援を強化し、市民の安全安心を確保していく方針です。

より良い
環境へ

2. 市営住宅跡地の有効活用について

廃止後、長年活用されていない灘区桜ヶ丘や長田区番町の跡地状況を確認しました。その他、廃止後に劣化が進む物件では周辺住民に不安を与えており、安全確保のためにも早期の道筋作りが不可欠です。

スピード
アップを

◀2026年3月9日予算特別委員会で建築住宅局へ質問

です。良質でちょうどいい戸建て住宅供給の推進など、市の大きなまちづくり方針に沿った計画的な有効活用の早期実現を提言しました。

3. 市営住宅の民間賃貸住宅としての活用について

市営住宅を若年層向け賃貸へ転用する事業の改善を提言。民間のノウハウを活かせるよう、公募条件の対象エリアの見直しを訴えました。

対象エリア
拡大へ



4. 空き家・空き地対策における財産管理制度の活用について



所有者不明物件の解消に向けた制度活用実績を確認しました。予納金等の市負担が重い現状を指摘し、国庫に帰属する供託金を自治体が活用できる仕組みの導入など、全国一の実績を持つ本市として国への要望をより強め、財政負担の軽減を図るよう促しました。

国要望を

神戸市政の場で取り組む主な実績 より良い垂水へ、目標にダッシュ!!

1 垂水駅東線の整備完了

この歩道等の整備は、私が東口に行く度に、山電沿いを駐輪場から歩いて来られる皆様を見て、「ここにこそ歩道が必要で、西側にあった北側の歩道を歩きましょうの看板ほど空しいものはない」と感じて、令和2年頃から山陽電鉄さん、山陽タクシーさんそして神戸市に働きかけご協力をいただいた結果、約6年越しでの完成です。



2 通学路の安全対策

大谷交差点

塩屋小学校、塩屋中学校の通学路であり、車両と歩行者が集中する狭い交差点です。私も朝の通学路当番をしたことがあります。地元の方の協力を得て、ようやく歩道とガードレールの整備をすることが出来ました。



舞子小学校通学路

地元の青少年育成協議会の皆さんさんからもご要望のあった、歩行者帯が整備されました。出来ることから順次、関係者のご協力を得ながら要請してまいります。



塩屋丸山線の暫定拡幅

大谷交差点から北側へ約200メートル程が都市計画道路として、事業決定されていますが、境界確定と用地交渉に時間を要しています。歩行者の安全確保のため、狭かった箇所を一旦、拡げています。



3 駐車場のキャッシュレス化

令和5年3月23日の本会議一般質問で、「レバンテやウエステの駐車場のキャッシュレス化を次期駐車場賃貸契約の公募時と言わず、早期に実施すべきである」と質問、その後もさまざまな機会を通じて要望を重ねてきました。そして令和7年1月、ようやく設置されました。議会での質問・要望が、少しづつ時間をかけ実現につながります。



4 神戸徳洲会病院への対応と今後

令和6年8月23日垂水区役所で、垂水区選出議員団から神戸徳洲会病院に対し、「早期の正常化と徹底的な調査・対策」をするよう申し入れました。

市として病院の改善措置の完了を判断してからさらに一年間、令和7年8月末まで神戸市保健所の指導・監督を受けることになりましたが、「改善完了」と判断されました。今後、垂水区の信頼される中核的医療機関としての役割を果たしていただきたいと強く願っています。旧養護学校跡地への移転には、まだ数年かかる見込みです。



5 垂水駅周辺の歩道整備

垂水駅周辺の歩道は、以前は明るい黄色系の色で整備されていましたが、劣化も激しくなり、凹凸もたくさん出てきていました。そこで垂水商店街振興組合さんとも話し合い、神戸市に要望し、現在の整備となりました。これからも、安全できれいな駅前であってほしいと願っています。



新・垂水図書館オープン!!

令和7年9月30日

垂水図書館の開館式に出席いたしました。蔵書数は約12万冊。スペースも約3倍になり、屋上からの眺めも楽しむことができます。自習室(予約制)69席も確保されています。子供達のお部屋まであり、豊かで知的な時間を過ごすことができると思います。



垂水図書館

神戸市政報告

編集・発行:
自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL.078-322-5846
http://www.jimin-kobe.com

自民党神戸市会議員団
神戸市会議員
垂水区

しらくに高太郎



特集

令和6年第2回定例会市会での一般質問、令和6年度決算特別委員会での局別審査、総括質疑の内容の一部を要約し、ウラ面に掲載いたしました。ぜひ、ご一読ください。

やりたいことに、きっと出会える

KOBE KATSU



2026年 いよいよKOBE KATSUがはじまります



市立中学校部活動のコベカツ移行に向けて、私は「教育的意義の継承」と「大人の事情(動き方改革)よりも、子供たちの利益を最優先にすべき」という立場から、粘り強く議論を重ねてきました。

教育子ども委員会

部活動が果たしてきた「教育的意義」をコベカツがどのように継承していくのか

質問:しらくに高太郎 令和6年6月21日

これまでの部活動の役割や教育的意義が次の地域クラブにどう引き継がれていくのか確認したい。教育的効果というものを外すべきではない。

■答弁:教育長

我々が経験したよきもの、スポーツや文化活動を通じて日頃味わえないものは残していく。子供たちが何を求めているのか、アンケートなどをミックスしながら時代に合ったものにしていく必要があると認識している。

■質問:しらくに高太郎 令和6年11月28日

「コベカツクラブの目指す姿」という項目内に「教育的意義」について書き加えていただきたい。

➡ 条例第1条に「コベカツは、部活動の教育的意義の継承、発展させた活動」と明記されました。

総務財政委員会

令和7年12月1日

地域交流センターの持続的な運営が出来るよう積極的な支援

地域交流センターの運営で、担い手不足や管理に対する不安の声があります。行政が関与し、運営が補完できる団体や個人を発掘し、ふれまち協議会と連携できる体制づくりを積極的に進めるべきではないか。これからの運営で難しい部分は、主に区役所が中心となって支えていただきたい。

➡ (地域協働局)でいねいに話し合いながら、区役所と役割分担して、協力して活動を支えたい。

意見書案の提出

令和7年10月9日

旧姓の通称使用の拡大・周知を推進する立場から、「旧姓の通称使用拡大の法制化を求める意見書案」の提案説明をしました。

採決の結果、起立少数で否決となりました。また、「選択的夫婦別姓の法制化に向けた積極的な議論を行うことを要望する意見書案」についても、起立少数で否決となりました。



令和8年度神戸市の予算

令和8年度は、「神戸市基本計画」「神戸2030ビジョン」の初年度にあたります。ビジョンに掲げる施策を積極的に展開することにより、市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを進めます。持続可能な大都市経営を行うことで、誇れる神戸を次代へと引き継いでいきます。

当初予算の規模 2兆146億円 (前年度比) △184億円 (△0.9%)



令和6年 第2回定例市会で 一般質問を行いました

令和6年10月24日



神戸市のホームページで動画をご覧いただくことができます

住むなら神戸の視点で施策展開を

■質問：しらくに高太郎

現在、様々な施策により良好な住環境が構築されつつあります。人口減少という課題に直面していることを踏まえ、と、「住むなら神戸」の視点で施策展開することは、他の関西の政令指定都市と比較して大きな強みだと考えるが。

■答弁：副市長

晩婚化・初産の高齢化の進展状況を踏まえ、今後も引き続き、より効果的な制度となるよう検討を進めたい。高齢者の見守りや孤独防止という観点での近居・同居世帯の定着支援につきましても、具体的に検討してまいります。

住まいの断熱化の効果をもっとPRすべき

■質問：しらくに高太郎

垂水区役所で「住まいの断熱で健康な暮らしを考えるシンポジウム」があり参加した。この効果を積極的に分かりやすく伝え、PRすることが市内定着にもつながると考えるが。

■答弁：副市長

シンポジウムは多くの市民が関心を持つ機会となった。健康で快適な住まいづくりを後押しし、市内定着につなげたい。

国の補助金制度「住宅省エネ2026」▶

移転後の垂水図書館のスペースを活用し より利用しやすい垂水区役所を

■質問：しらくに高太郎

移転が予定されている1階の垂水図書館のスペースを活用し、より利用しやすい垂水区役所とすべきと考えます。

■答弁：久元市長

改善が必要だと考えている。例えば、安心して健診が受けられるスペースをしっかりと確保するなど、子育て世帯に優しいフロアとなるような区役所機能の強化として、来年度予算編成の中で具体的に検討を進めたい。

質問後に進んだ垂水区役所の整備

- 1階の垂水図書館跡に、2階から「高齢」と「障害」の窓口が移転されます。
- 2階は、「子育て」窓口や健診会場の待合スペースの拡大、授乳室の設置などが令和8年度中に整備される予定です。



垂水・舞子の海は海上観光になり得る 魅力的な資源

■質問：しらくに高太郎

神戸空港の国際化を契機とする施策展開について、須磨海づり公園やマリニピア神戸、アジュール舞子、パールブリッジなど魅力的な観光資源にぜひ目を向けてほしい。特に海上観光の要素を付与するなど、今後の観光誘客に向けた取り組みを伺いたい。

■答弁：久元市長

神戸西部の海岸エリアを一体としてPRし、施設が相互に連携しながら回遊性を高めることが重要です。今後、旅行事業者や各施設の運営事業者と連携し、このエリアのツアーコンテツの造成など引き続き取り組んでいく。

海上観光の観点では、更なる神戸観光クルーズの可能性について、検討したい。2号線の渋滞にも取り組んでいるが、将来的には、神戸空港や神戸の中心地から須磨・垂水に向けた海上アクセスの模索も研究したい。

JR垂水駅東口のバリアフリー化を

■質問：しらくに高太郎

JR垂水駅東口のバリアフリー化が進んでいない。新しい図書館や区役所の玄関口で、新たな再開発も進んでいます。JRに対してバリアフリー化の推進を積極的に働きかけていくべきです。この点についてご見解をお伺いします。

■答弁：副市長

JR垂水駅につきましても、地域の皆さんから東口に2経路目としてバリアフリー動線を設けてほしいという御要望を聞いている。重点要望駅として、元町駅東口、須磨駅南口と並んで垂水駅東口を位置付けている。今後も粘り強く働きかけていきたい。

最初にJRと面会した時から、「出来なかったら最初から出来ないと言ってください」と申し上げてきましたが、「出来ない」とは言いません。しかしながら、東口駅舎全体の大規模改修が必要となり、工期が長期にわたる可能性も指摘されています。



市会議員 市会議員 市会議員

令和6年度 決算特別委員会 局別審査を行いました

建設局

令和7年9月18日

神戸市内の道路は安全か

■質問：しらくに高太郎

国土交通省が国道4739が所地下の空洞を確認し、うち119が所は陥没する恐れが高かったとする2024年度の調査結果を公表している。神戸市内の道路の安全性はどうか。

■答弁：建設局長

平成9年度から計画的に路面下の空洞調査をし、3巡目の調査となっています。一番危ない危険度Aが17か所あり、このうち10か所で補修が完了し、残り7か所は現在補修中です。一方で、八潮市での陥没事故を受け、下水道管路の特別重点調査も実施しており、道路部門と下水道部門が緊密に連携をとって対応しています。

西舞子の山田川西踏切の安全対策を

■質問：しらくに高太郎

令和7年1月、西舞子の山陽電鉄踏切で、女性2名が踏切道上で電車に衝突して死亡するという痛ましい事故が発生しました。関係機関が連携し、抜本的な対策が必要と考えるが現在の取り組みと今後の進め方を伺う。

■答弁：建設局長

近隣住民の意見も聞きながら検討を進めている。具体的には、路線沿いの国道側にスロープのようなものを設置することで急な傾斜を緩やかにし、信号待ちスペースを生み出すことを検討している。出来る限り、速やかに実施したい。



山陽電鉄山田川西踏切。令和7年9月18日工事完了。供用開始されました。

消防局

令和7年9月19日

救急需要増加にどう対応するか

■質問：しらくに高太郎

高齢社会が進展し救急需要の増大が続くと考えられるが、消防局が取り組む対策を伺う。

■答弁：救急部長

急病やけがの対策として予防救急の広報や救急安心センター（#7119と078-331-7119）の設置などで対策を行ってきた。また、転院搬送は、病院救急車や民間の搬送事業者の活用で一定の効果があつた。救急需要対策は、様々な対策を進めていくことが必要と考えている。



神戸市の高規格救急車

救急隊の接遇向上を

■質問：しらくに高太郎

救急隊員さんが高い使命感で活動されていることは承知するが、市民に寄り添った対応が必要と考えるが、どのような接遇を心がけておられるのか。

■答弁：救急部長

傷病者本人や家族にとり、大きな不安を抱え、冷静な精神状態でない場合が多いと思っている。そのため、不信感や不満が生じることがない対応が必要と考えており、活動の中で逐次説明し市民に寄り添った対応を心がけている。繰り返し接遇研修を行っており、頼れる、安心できるという印象を持っていただけるよう取り組んでいく。

■要望：しらくに高太郎

頼れる存在として努めていただきたいと願っているが、プロであるからこそ接遇もきちんと対応をお願いしたい。

令和6年度 決算特別委員会で 総括質疑を行いました

令和7年9月26日



神戸市のホームページで動画をご覧いただくことができます

グローバル貢献都市について

■質問：しらくに高太郎

これまで久元市政では、海と山が育むグローバル貢献都市を目指すべき未来像と掲げてきたが、市民とどのように共有し共感を得ようとしているのか。



▲神戸空港第2ターミナル

■答弁：久元市長

例えば、神戸にあるスーパーコンピュータ富岳、あるいは量子コンピュータを活用して新たな産業技術を生み出していく。またグローバル社会にも貢献していく視点。また神戸空港が国際化を果たしたことで、新たな国際都市としての可能性を具体化していくという視点も必要だ。

神戸市総合基本計画の策定において、多くの市民や関係者からご意見をいただきながら、ともに理想の未来像を描き、共有し、その取り組みを通じて市民とシビックプライド醸成、都市ブランドの向上につなげ、計画の策定を進める。

「第6次神戸市基本計画ー2035年の神戸ー」が本会議で議決されました。

令和8年2月24日

若者に選ばれえる企業誘致を

■質問：しらくに高太郎

学生が企業選択時に重視する要素を分析し、市内中小企業に対して選ばれる企業となるための支援を強化し、また、学生が就職先として憧れるような業界のリーディングカンパニーを呼び込むことが求められるのではないのか。今後どのように雇用促進と誘致を図るのか。

■答弁：久元市長

製品開発にかかる経費や女性雇用整備に要する経費を補助し、中小企業の魅力を向上させる取り組みを進めている。また、その魅力を動画で配信し、認知度向上に取り組んでいる。

企業誘致については、今後、都心三宮再整備が進むと、高品質で大型のオフィス床が新たに供給され、新たな企業誘致に大きな武器となると考えている。しかし、もっといい知恵があるのではないかと感じているので、新たな施策展開の可能性も模索していきたい。

神戸市会議員 垂水区 しらくに高太郎

より良い神戸・垂水へ。目標にダッシュ!!

Topics
3

山口由美が注目するR8年度予算

こども

学校給食費 4月～

小学校	中学校
負担なし	負担減

有機野菜の活用も!!

5歳児健診 下半期～

対象医療機関で個別に

フリースクール等 4月～

利用料半額補助

※教育委員会HPに、親の会の情報等を掲載予定

農業・農村・里山

給食用の有機農産物の試験栽培用助成制度

果樹分野の担い手育成
(押部谷果樹団地の活性化)

若手演奏家の活躍の場の創出

西神中央ホールを含む公共の場で、市内中高生などの演奏を

公立保育所の

嘱託歯科医の報酬改善

地域美化

ゴミステーション

折りたたみ式ネットボックス▶
購入費助成

河川内の樹木等対策

BEFORE

AFTER

▲流水を阻害する
樹木等の撤去

安心・安全

西神戸医療センター

手術室(R8年度末)増設
外来診察室(R9年秋)増設

消防団詰所

西区94ヶ所を含む市
内224ヶ所から50ヶ
所程度ピックアップ、調査し
た上で修繕計画を策定予定
(実際の修繕はR9年度以降)

森林

KOBE WOOD普及
促進補助制度の創設
市産材の活用を促進

オーガニック・シティ勉強会

▲黒田副市長の講演「森の未来都市神戸の取り組み」
R8.1.28

森林の循環

森の
未来都市神戸
関連予算

◀市長表敬の様子

いずれもスノーボードに
出場された岡田選手、
後田選手、お疲れさまで
したー!!

山口

Topics
4ミラノ・コルティナ
パラリンピック
神戸市の選手が出場

3/6～3/15 開催!



情熱市政 NEWS

VOL 54

発行：自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 兵庫県神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL.078-322-5846

▼予算特別委員会 第2分科会
福祉局審査(R8.2.26)R8年度予算について
質問をしました。

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になります。世界情勢がますます不安定になる中、年度末でも
あり気持ちが落ち着かない日々ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。年明けに突然の総選挙となりましたが、神戸市会は予定通り、予算
議会が行われております。国会の様子も見守りながら、私たちは市民
の皆様の生活を守るべく、議論を続けているところです。また、議員
提案で制定した子ども虐待防止や災害時要援護者支援の条例を改正
すべく、勉強も重ねているところです。予算審議を経て、来年度も
しっかりと地に足をつけて仕事をしていきます。

引き続きのご指導よろしくお願いいたします。



神戸市会議員

作成者 山口 由美

西区選出5期目

ご意見・
ご感想は...山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail.yamaguchi@yumiguma.com

Topics
1

西区6歳児虐待死 事件後の福祉行政



1 福祉局審査(予算特別委員会)での質疑



事件の被告人たちは、本来支援を受けるべき人たちでした。福祉局の受けとめは？

このような痛ましい事件が2度と繰り返されないよう、行政や支援機関、地域の住民とともに、子どもと家族を見守り、支えられる地域を作りたいです。



2 事件後の福祉局の対応

1 生活保護行政

- 18歳以下の子どもの養育状況確認
- 要保護・要支援児童の関係機関とのさらなる連携
- ケースワーカーへの研修の実施
- 自立に向けた支援の強化

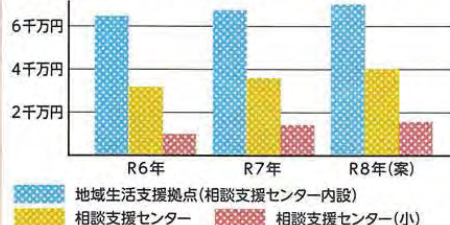
▼臨床心理士サポート事業 (H27.4~)

対象者：生活困窮者や生活保護受給者のうち多様で複合的な課題があり、支援を要する者
内容：必要に応じて臨床心理士が面談等を行い、適切な支援につなげる。

2 障がい福祉行政

- 相談機能の強化(市内19ヶ所：R8.3現在)

▼各施設(1か所あたりの)予算の推移



▼要保護児童対策地域協議会の構成

(市区運営マニュアルを基に作成)



障がい者
相談支援
センター



保護者に精神・知的障がいがある場合、障がい福祉の専門家も会議に入るべき！

子ども虐待のリスク要因

(子ども虐待対応の手引き：こども家庭庁)

- 望まない妊娠、若年の妊娠
- 精神的に不安定な状況
- 元来性格が攻撃的、衝動的
- 精神障がい、知的障がい、慢性疾患、アルコール依存、薬物依存等
- 被虐待経験 等

保護者側

Topics
2

山口由美の市政への提案

1 視覚障がい児の療育

▼療育体制の再構築(H28)



子どもの目の見えにくさを相談したり、専門的な療育を受けられる体制が必要では？

現在の施策がニーズに合っているか、支援の充実のためにまずは現状把握に努めます。



対象児：未就学児
開催日：月・火・水 9:00~16:00
支援人数(R6年度)

0歳	1人	4歳	0人	合計 20人
1歳	5人	5歳	3人	
2歳	1人	6歳以上	8人	
3歳	2人			

参考

福岡市立心身障がい福祉センター

あいあいセンター(こども部門)

外来療育あり 福岡市HPより



▼神戸市
総合療育センター



2 視覚障がい児者へのアウトリーチ支援



障がい者手帳の交付時に、必ず支援につながる仕組みをぜひ検討してほしいです。



身体障害者手帳の受け取り



生活指導員派遣により
お困りごとの聞き取り

京都市では実施

子育て支援がさらに進化!

待機児童対策、遊び場の充実、切れ目のない支援体制の構築

1 おむつサブスク試行開始!

公立保育園での「おむつサブスク(定額制)」導入を提案。2026年夏頃からの試行実施が決定しました!

名前書きや持参の手間をなくし、保護者と保育士双方の負担を軽減します。



2 外出しやすい環境づくり

区役所の「おやこふらっとひろば」や児童館等へ、おむつ用ゴミ箱(ダストボックス)や調乳用温水器の設置を順次拡大するよう要望。子育て世代が気兼ねなく外出できる街を目指します。



3 家事支援・病児保育の進化

仕事と育児の両立を支える「家事代行サービス」の公的支援検討や要望、2026年度の「病児保育予約システム」全市統一化など提案・実現に向かいました。利便性と安心感をさらに高める施策を推進します。

TOPICS

支え合える職場づくりを神戸から

子育てや介護、病気などで休む人がいても、周囲に負担が偏りすぎない職場づくりを提案し、神戸市役所で「仕事肩代わり手当」の導入を実現しました。神戸市がまずお手本を示し、その取組が市内へと広がっていくことを期待しています。



あさ い 浅井 みか

神戸市議員 灘区選出

市政へのお声
お聞かせください

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 28階
自由民主党神戸市議員団・無所属の会控室
TEL.080-5818-4408 〆 asaimika.kobe@gmail.com



HPも
ご覧ください

2026.3 作成

自由民主党 神戸市議員団

浅井みかが通信

vol.3
灘区版

【発行】自由民主党神戸市議員団・無所属の会 ― 神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市役所1号館28階 TEL.078-322-5846

新しい風で神戸を前へ! 【作成者】神戸市議員 灘区選出 1 期目

浅井みか

灘区の実現! のだんじり支援!



畑原青年会

浅井さん! 地車小屋の消防設備整備への助成がなくて困っています。既存補助も、使いやすく拡充してほしいです。

ご相談を受け、
1年交渉して前進!

重点政策
2 街づくり

重点政策
5 防災

消防設備の整備補助 新設へ!

費用の1/2・上限5万円
(だんじり新団体設立に関する要綱を踏まえ支援予定)

「地域文化資源 保存活動補助金」5年の上限を撤廃!

(灘区の全てのだんじりが対象へ!)

INDEX

【今号の目次】

中面 >>>>> 国際政策

神戸の力を世界へ!
国際経済交流と教育の未来



▲令和7年8月 米国視察にて

中面 >>>>> 教育政策

コベカツ
水泳授業を
民間プール活用提案

裏面 >>>>> 子育て政策

おむつサブスク提案 他

詳しくは
中面をご覧ください!

令和8年3月
福祉環境委員会にて

浅井みか 5つの重点政策 "経済×子育て" 働く世帯人口を増やす!

1 子育て
全国No.1の
子育て・出産支援
の拡充

2 街づくり
人生100年
時代を見据えた
街づくり

3 経済
経済成長の
回復・ビジネスの
つながる街へ

4 動物
王子動物園を
魅力度No.1に!

5 防災
全国のお
お手本となる
防災の街・神戸

神戸の強みを世界へ繋ぐべき!

2025

議会での
取り組み

次の一手を議会に提案!

今回の国際経験を活かし、
教育に関して神戸の成長戦略を提案しました。

神戸市議会議員として 米国国務省IVLPに招へい

昨夏、米国国務省の招へいにより神戸市議会議員として渡米し、23カ国の各国代表の一人として複数都市において意見交換を行いました。会派としても日頃、国際都市神戸の価値向上を議会等で追求しており、実際アメリカ、日本、各国の取組を比較する中で、神戸の強みをどう伸ばし、どこを改善すべきか、その方向性がより明確になりました。神戸の魅力や産業を世界に届け、新たな仕事やチャンスを生み、人の成長にもつなげていける可能性が、神戸には大いにあると改めて実感しました。市議会議員として、国際都市神戸の次なる発展のため、橋渡し役を果たし、具体的な政策提案につなげてまいります。

山田重夫・駐米日本大使と
意見交換

視察先の議会にて



1 外貨を稼ぐ神戸へ!

国際課の経済観光局移管を活かし、単なる交流から「経済的成長」を生む施策を提言。台湾・高雄市との連携強化や、中小企業の海外進出をプッシュ型で支援する体制を求めました。



2 世界市場への挑戦!

米国Amazonでの「神戸ブランド特設ページ」設置や、シアトルとの姉妹都市関係を活かした独自販路の開拓を提案。売って終わりにしない、継続的な外貨獲得の仕組みづくりを推進します。



3 真珠とパンを 神戸観光の強みに!



異人館など観光の中心地を通じて、神戸が真珠やパンの街であることが国内外の来訪者に伝わる仕組みを強化すべきだと提案しました。

4 神戸の山で愛着を育てる!

ゴミ拾いをしながら歩くトレッキングなど、自然や日本の文化を学びながら、神戸への愛着も深まる観光を提案しました。



5 全ての公立校で 世界とつながる学びを

特定の学校だけでなく、全ての公立小中学校で、一定水準以上の英語教育を提供し、国際都市ならではの海外の同世代との交流機会も広げるべきだと提案しました。教員の負担にも配慮しながら、子どもたちが英語で「話す自信」と広い視野を育む環境づくりを求めました。



6 海外大学進学を身近に!

葺合高校国際科の知見を活かし、市内の全高校生が海外大学への出願や奨学金の情報を得られるガイダンスの実施を提案。「どの学校にいても世界を目指す神戸」の教育ブランド向上を目指します。

令和8年3月▶
予算特別委員会 経済観光局審査にて

子どもたちの学びを「時代に対応させる」提案と要望



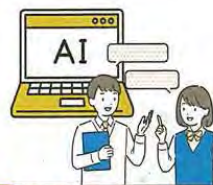
コベカツ相談会の 実施を!

KOBE◆KATSUについて、保護者の不安解消と、活動団体の内容が伝わるよう、開始前に団体を知る機会を中学校区ごとに設けてほしいと要望しました。



水泳授業に 民間プール活用を!

子どもたちや保護者から、暑さで水泳授業が中止になるとの声を受け、2024年9月議会で民間プール活用の必要性をいち早く要望しました。2025年夏に原田中学校で民間プールの使用が始まり、前進につながりました。



AI時代の探究学習

生成AIを単なるツールではなく、自ら問いを立て、思考を深める「探究学習」に活用するモデルを提案。情報の妥当性を判断し、深く考え、論理的に言語化する「新しい基礎学力」の育成を重視します。

▲令和7年12月24日
福田かおる・文部科学大臣政務官に陳情

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 平野たつじ市政報告会 開催のお知らせ

発行所

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181
内線 7060



拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より温かいご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

私は2019年4月に神戸市会議員として初当選させていただき、現在2期目を務めさせていただいております。これまで地域の皆様から多くのご意見やご要望を頂戴しながら、市政の課題解決に向けて取り組んでまいりました。

このたび、これまでの私の活動のご報告とともに、神戸市政の現状や今後の取り組みについてご説明させていただくため、下記のとおり市政報告会を開催いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 神戸市会議員（兵庫区）

平野たつじ

◆と き 令和8年 9月26日(土)
14:00～

◆ところ 神戸木材会館5F
(兵庫区大開通2丁目3-18)



ご出席の方は、お電話、FAX、メール、QRコードのいずれかで
お申し込みいただけますようお願い申し上げます。

①お電話 : 078-531-8780

②F A X : 078-531-5301

③E-mail : th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ市政報告会
(2026年9月26日(土)14:00より)
ご参加お申し込み

FAX (番号531-5301) でのお申し込み
参加します

会社名・お名前	ご住所	お電話番号	メールアドレス

料金別納郵便



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 神戸市会議員

うへはたのりひろ 神戸市政報告
に対する政策提言・市政相談はこちらまで➡



国に対して神戸市政に係る要望・提言！

▼高市早苗衆議院議員に対して要望



- 1 政令指定都市の権限強化と特別市の速やかな法制化
- 2 平和に貢献する防衛産業の活性化と防衛装備の輸出促進
- 3 神戸港の保税工場を認め、輸入品の非関税を維持のまま加工製造する輸出体制の実現

小林鷹之
衆議院議員に
対して要望➡

- 4 再エネ賦課金廃止とメガソーラー規制
- 5 原子力発電の活用と人材育成研究の促進
- 6 プラスチックごみのサーマルリサイクル推進
- 7 外国人生活保護の廃止 等



日米友好の強化へ！ 神戸港の「非核神戸方式」が遂に終焉！

駐日米国武官 ダニエル・フィリオン海軍大佐と
今後の連携を確認➡

50年前に制定された神戸港の非核神戸方式が障害となり、神戸港には米軍艦船の入港がすることが出来ず、阪神淡路大震災時には米軍の支援も受けられず、日本国民たる神戸市民の人命よりもイデオロギーが優先された歴史があります。これに危機感を抱いた私上畠のりひろは5年前から議会で取り組み、①非核神戸方式は法的拘束力がないこと、②港湾法の違法な運用であること、③米国公文書をもとに核兵器の搭載もないことを確認し、国会でも内閣に確認を取って頂きました。また、米国総領事と連携し、港湾局に米国の立場を説明してきました。そして遂に非核証明書な



▲神戸港に入港した艦船ウォーリアにて艦長と意見交換

しに米軍掃海艇ウォーリアが50年ぶりに神戸港へ入港し、非核神戸方式は事実上の終了を迎えました。今後は大阪港と類似した手続きで運用されます。イデオロギーではなく、日本国民の生命と財産を守ることが最優先です。

発行 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 TEL. 078-322-5846
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階 FAX. 078-330-0239

Email : uehata.kobe.japan@gmail.com

どのような些細なことでも結構です！ご意見やご相談は

神戸市会議員 うへはたのりひろ まで
お寄せください。



▲台湾総統である
賴清徳閣下に要請

神戸空港の国際化! 台湾線の就航が実現!

この台湾線の就航にあたっては、私達神戸市議員も積極的に取り組んで参りました。令和6年に台湾の総統就任式にご招待をいただき訪台した際には、総統(大統領)である賴清徳閣下にお

会して、神戸の誇る「だんじり祭り」をはじめとする神戸の魅力をPRするとともに、神戸空港の台湾線の就航に向けた協力を要請

いたしました。一方で、中国当局はこのような台湾との友好交流に対し、度々圧力を加えてきました。実際に、神戸市役所に対しても「議員を総統就任式に参列させるな」といった極めて無礼な文書を送付してきた事実があり、この件は国会でも取り上げられました。その結果、**日中共同声明には法的拘束力がない**ことが明確に確認され、中国側の主張は正当性を欠くものと認識されています。私は、日本と台湾の友好関係をさらに深めることこそが、神戸の未来に資するとの信念のもと、中国からの圧力には屈することなく、堂々と台湾を訪問し、**神戸市から唯一人、総統就任式に正式に参列**いたしました。今後も、神戸市から日本・台湾両国の連携強化に向け、揺るぎない覚悟で取り組んでまいります。

人工知能を活用した 神戸の未来の構築に向けて!



令和5年8月、台湾のオードリー・タン デジタル担当大臣と久元喜造神戸市長との会談に、私上畠のりひろも同席いたしました。さらに令和6年8月に来神されたオードリー・タン氏と再会し、会談が実現いたしました。この会談においては、人工知能(AI)と民主主義、AIを活用した今後の行政経営の在り方、フェイク情報への対抗等について意見交換を行い、継続的な連携体制の構築についても確認いたしました。あわせて、神戸市におけるAIの利活用の取組についてご協力を快諾いただいております。

オードリー・タン▶
元デジタル担当大臣と



政令指定都市は国家のエンジン! 特別市で更なる飛躍へ 内閣総理大臣に就任された 高市早苗衆議院議員に対して 特別市法制化を要請

政令指定都市は神戸市を含め20市あります。その存在は経済圏としては勿論のこと、周辺自治体にも



好影響があります。神戸市は元々政令指定都市なので国とも直接やりとりを行い、神戸市における兵庫県の役割はほんの僅かです。神戸市民が納めている税金に対して兵庫県が神戸市に還元する割合はごく僅かであります。兵庫県の役割を神戸市が担い、特別市となることは日本国民たる神戸市民の皆様の福祉向上に資することへつながり、国家のエンジンとしての更なる飛躍につながります。高市衆議院議員は特別市の法制化に向けて全面的な協力と法制化に向けて取り組む旨確約をして下さいました。

日米友好の強化へ！ 神戸港の「非核神戸方式」が遂に終焉！

50年前に制定された神戸港の非核神戸方式が障害となり、神戸港には米軍艦船の入港がすることが出来ず、阪神淡路大震災時には米軍の支援も受けられず、日本国民たる神戸市民の人命よりもイデオロギーが優先された歴史があります。これに危機感を抱いた私上島のりひろは5年前から議会で行き組み、①非核神戸方式は法的拘束力がないこと、②港湾法の違法な運用であること、③米国公文書をもとに核兵器の搭載もないことを確認し、国会でも内閣に確認を取って頂きました。

また、米国総領事と連携し、港湾局に米国の立場を説明してきました。そして遂に非核証明書なしに米軍掃海艇ウォーリアが50年ぶりに神戸港へ入港し、非核神戸方式は事実上の終了を迎えました。今後は大阪港と類似した手続きで運用されます。イデオロギーではなく、日本国民の生命と財産を守ることが最優先です。



▲神戸港に入港した艦船ウォーリアにて艦長と意見交換



◀駐日米国武官
ダニエル・フィリオン海軍大佐と
今後の連携を確認

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会

神戸市会議員

うえはたのりひろ 神戸市政報告
に対する政策提言・市政相談はこちらまで➡

発行

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階

TEL. 078-322-5846 FAX. 078-330-0239
Email: uehata.kobe.japan@gmail.com



どのような些細なことでも結構です！ご意見やご相談は **神戸市会議員 うえはたのりひろ** までお寄せください。



神戸市の物価高対策！

令和8年第1回定例会市会(2月議会)が、2月17日から3月27日まで開催され、当初予算に関して活発な議論が行われました。
物価高騰が長期化し、食料品や光熱費など、日々の暮らしに直結する負担が増えています。
どういう考え方で、神戸市は物価高対策に取り組むのでしょうか？



国の予算2兆円の内、当市への配分額は約110億円でした。神戸市では物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援として実施し、その対策は単なる一律給付ではなく、次の3つの考え方を重視したものです。

1

物価高騰の影響を 勘案した支援

学生や子ども食堂等への支援

- 学生支援
市内高校・大学等の学生に対し、学食利用などに活用できる1人3,000円の支援を実施。
- 子ども食堂支援
市内の子ども食堂へ神戸産米を年2回配送。
- 児童養護施設退所者などへ食料品等を配送。



様々な世帯への緊急支援

- フードサポートこうべの拡充
各区での開催回数を大幅に増やし、全9区で年3回実施。
- コミュニティフリッジの設置・運営補助
食料品を24時間受取可能な拠点(市内3か所)

市内事業者と連携した食支援

神戸市の基本姿勢は、一律の現金給付、一律の水道料金無料化、一律のクーポン配布といった手法は選ばず、本当に必要な方へ重点的に、時間的効果が続く仕組みをつくり、NPO・企業と連携する「オール神戸」で対応するという方針で取り組むことを確認し、賛成を致しました。

2

一度きりではなく 継続する仕組みへ

物価高は短期間で終わるものではありません。
「一回限りの現金給付」ではなく、持続的に回る仕組みづくりを重視した支援です。

無料・安価な食料品の 供給スキームの構築

- 食支援団体を支援する新たな拠点を設置
(常温 KIITO、冷凍冷蔵 市内1か所)
- 食支援団体への支援拡大
常温保管庫・冷凍冷蔵保管庫を新設
食支援団体を21団体から32団体に拡充
団体への補助額も増額
企業から寄附された食品を安定的に保管・配送し、継続的な支援を可能にします。
- フードロスロッカーの設置・利用促進
主要駅等に設置(20か所)

市内事業者への支援

- 投資促進等助成、省エネ設備更新支援など
家計支援と食品ロス削減を両立します。

個人消費を支える分野で、兵庫県からプレミアム付きデジタル商品券「はばタンPay+(パイプラス)」の第5弾が発行されました。神戸市を含む全ての県民を対象に販売する「一般枠」で、プレミアム率は初めて50%に引き上げられました。1口5千円(7,500円相当)で4口まで申し込みができます。申込期間は、4月12日まで。利用期間は4月24日から7月31日まで。是非、申込みご利用ください。

3

公益性・社会的に 重要な分野への支援

地域社会を支える分野を守ることも重要です。

- 医療機関支援
救急医療体制維持のため、市民病院機構への支援を増額。
- 社会福祉施設支援
食費・光熱費高騰・処遇改善などへの支援を実施。
- 銭湯料金の負担軽減
- 事業者支援も強化
生活を守るためには、地域経済を守ることも不可欠です。
- 中小企業の省エネ設備更新支援
- 医療・福祉施設支援
- 交通事業者への燃料費補助
- 農漁業者支援
- 観光振興支援
- 指定管理施設・工事事業者への支援

など、幅広く支援を行います。



4月12日
まで

【公式】はばタンPay+(プラス)第5弾 | ひょうご家計応援キャンペーン プレミアム付デジタル券

KOBE◆KATSU(コベカツ)(中学校部活動の地域移行)について
会派HPにて詳しい内容を掲載しております。



HPコベカツに関する記事はこちら



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
TEL.078-322-5846

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
HPアドレス <https://www.jimin-kobe.com/>



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
令和7年度の議会活動を中心に報告いたします

活動だより

※各議員の2次元コードより、自民党プロフィールサイトをご覧ください。

東灘区

うへはた のりひろ



tel.078-322-5846 fax.078-330-0239
uehata.kobe@gmail.com

幹事・広報



▲本会議において
一般質問を実施

負の遺産

神戸港の「非核神戸方式」が遂に終焉！

50年前に決議された非核神戸方式は、米軍艦船の入港を妨げ、阪神淡路大震災時に米軍支援を受けられない一因ともなりました。私は決議に法的拘束力がないことや核搭載の実態を明らかにし、港湾局にも米軍の立場を説明してきました。昨年、米軍は非核証明書なしで入港し、本方式は事実上終了。口だけのイデオロギーではなく日本国民たる神戸市民の生命を最優先に取り組みます。

灘区

浅井 みか



tel.080-5818-4408 fax.078-322-5548
asaimika.kobe@gmail.com

副政調会長



▲令和8年3月5日(木)
予算特別委員会
教育委員会審査にて

神戸の強みを

世界へつなぐべき

神戸の強みを世界につなげ、外貨を稼ぐ都市戦略を進めるべきだと感じました。昨夏、米国防務省に神戸市議員として招聘され渡米し、23カ国の各国代表の一人として神戸の発展につながる意見交換を行った経験も踏まえ、神戸の真珠産業や登山観光の発信、中小企業や個人事業者の海外展開支援、輸出強化に加え、世界を目指す教育環境の充実も求めました。

中央区

河 南 忠 和



tel.078-806-8633 fax.078-806-8653
kobe.kawanami@gmail.com

幹事長



▲令和8年3月6日(金)
第2分科会
(危機管理・消防局)にて

阪神高速京橋インター出口から 税関前への渋滞対策を！

京橋インター出口から税関本庁前交差点までの渋滞について、車線の使われ方に偏りがあると指摘。直進車を中央車線に集中させないように、左折専用車線を直進にも活用する社会実験の提案をしました。神戸市からは、警察の交通処理等への懸念も聞いているが、社会実験による効果検証の可能性に触れ、警察や国土交通省、阪神高速など関係機関と連携し検討していく、との答弁を引き出しました。

北区

うえなか 雅子



tel.078-583-8060 fax.078-583-4696
uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp



▲令和7年9月17日(水)
決算特別委員会
都市局審査にて

都心・三宮再整備における

障がい者対応について

都心・三宮再整備において、新バスターミナルやJR新駅ビル等々の工事が進められている。工事期間中の歩行者動線は日々変更され、様々な障がいを抱える方々は困っている。車椅子利用者やパーキンソン病等々の方からは、看板は下に設置した方が見やすいとの意見もある。事前周知や案内看板の設置の際には、障がいを抱える方々にも情報が届くよう工夫する必要があるのではないかと。

北区

うえなか 美貴子



tel.090-7756-0610 fax.078-322-6164
mikiko.uenaka.1106@gmail.com



▲令和8年3月9日(月)
予算特別委員会
健康局審査にて

在宅医療の充実に向けた、

医療と介護の連携強化について

医療機関と介護機関を結ぶ要となる「医療介護サポートセンター」において、両機関の豊富な情報を的確に把握し、急変時の往診や入退院時のマッチング等、双方への情報提供が積極的に行われることが望まれます。その為に双方へのセンターの周知徹底、併せて多職種会議や研修を重ねること、在宅医療に安心して臨める支援体制の一層の強化を要望しました。

垂水区

しらくに 高太郎



tel.078-704-6060 fax.078-709-5252
kobe.jiminshirakuni@gmail.com

副幹事長



▲令和8年3月5日(木)
予算特別委員会
教育委員会審査にて

祝日の由来や意義を学ぶ必要があると 考えるが、指導は？

【教育次長答弁】小6社会では国会の働きと関連付け、祝日が法律で定められていることやその意義について指導している。それ以外でも、道徳科で思いやりや家族愛などを扱う題材だと敬老の日であったり、勤労や責任を扱う題材だと勤労感謝の日と関連付けるなど、その都度触れている。更に、祝日前の集会やHRなどでも発達段階に応じて関心を深める機会を設けるよう努めている。

西区

坊 池 正



tel.078-965-0400
bouike@nifty.com



▲令和6年9月27日(金)
決算特別委員会第3分科
子ども家庭局審査にて

農村地域の安全・安心づくりを！

元消防吏員・兼業農家としての知見を活かして、防災減災、消防隊の体制強化、また神戸産農産物のブランド化やスマート農業の推進、市内農業の活性化についてなど提言してまいりました。

東灘区

大野 陽平

tel.078-851-6996 fax.078-854-2300
yohei@hono11@gmail.com

副政調会長

▲令和7年9月17日(水)
決算特別委員会
こども家庭局審査にてケアリーバーなど若者の孤立防ぐ
支援拠点開設!

児童養護施設などで育ったケアリーバーや、家庭内での虐待などにより、親族からの支援を受けられない若者の中には、進学・就職・住居・生活面で困難を抱えた際に頼れる相手が少なく、犯罪に巻き込まれるケースも指摘されています。孤立を防ぐ支援の必要性を質疑・提案していましたが、令和8年度予算に相談や交流ができる支援拠点を市内に新設することが盛り込まれました。

灘区

吉田 健吾

tel.078-861-5566 fax.078-861-3456
gogo@yoshidakengo.jp

政調会長

▲令和8年3月4日(水)
予算特別委員会
都市局審査にてHAT神戸※の活性化策として
アクティブ軸の充実を

※ HAT神戸の略称は「Happy Active Town」

[吉田] ミュージアムロードの文化軸に対して、アクティブ軸もまちづくりの柱に。[都市局長] HAT神戸は、スポーツ施設やハーバーウォークのランニングコースなどスポーツ環境が充実した地域であり、アクティブを軸としたまちづくりが重要。通年型アイススケートリンクの活用や、プロチームと連携した体験機会の創出、ランニング環境の向上などを通じ、スポーツを切り口とした活性化に取り組んでいく。

兵庫区

平野 たつじ

tel.078-531-8780 fax.078-531-5301
th.tatsuji.hirano@gmail.com

副幹事長

▲令和8年3月4日(水)
予算特別委員会
経済観光局審査にて市場・商店街のブランドと技術の承継を
どう支援するか

[大畑局長答弁] 商店街や小売市場では、高齢化や後継者不足により店舗の廃業が増加。地域に根付いた技術やノウハウが失われることは大きな課題と認識。神戸産業就労支援財団と連携し、事業の可視化や承継準備、後継者とのマッチング支援に取り組む。今後も商店街や市場の組合・連合会と連携し、地域資産の承継という観点も踏まえながら事業承継を丁寧に支援していきます。

兵庫区

村上 たつま

tel.078-599-7760 fax.078-336-3572
murakami.tatsuma@gmail.com▲令和8年3月2日(月)
予算特別委員会
港湾局審査にて神戸空港国際線エリアにおける
今後の拡張整備は?

[空港担当局長答弁] 2030年の国際定期便受入れを目標に、神戸空港第2ターミナルの拡張や機能強化を検討している。エプロンは運用の工夫により駐機スポットを15から17に増やし対応する見込み。一方、ターミナルは南側へ拡張し、ボーディングブリッジ整備や出入国審査場・カウンター増設などを行い、利便性向上と受入れ環境整備を進める。関係者と協議しながら検討を続ける。

長田区

平井 真千子

tel./fax.078-643-0647
machiko.h@earth.ocn.ne.jp

団長

▲令和8年3月3日(火)
予算特別委員会
交通局審査にて新長田駅の拠点性向上や、若松公園・
駅前広場の再整備など、地域課題について質疑

局別の予算審議では、地域の課題解決の視点を多く取り入れながら質疑を行いました。[交通局] ●長田駅の拠点性を低下させないバス路線再編 ●バスの経営改善のための需要創出 [都市局] ●都心再整備における緑化計画 ●新長田駅前広場と若松公園の再整備の検討手法 [建築住宅局] ●管理不全空き家等への指導強化 ●住宅の耐震化支援等について

須磨区

松本 しゅうじ

tel.078-795-9069 fax.078-795-9090
matsujimin2@gmail.com▲令和8年3月5日(木)
予算特別委員会
水道局審査にて管路情報管理システム更新と
サイバーセキュリティ対策を!

国は、危機管理投資の強化を掲げており、水道は命に直結する基幹インフラであり、管路情報管理システムの更新については、災害時の断水影響範囲の予測等に貢献できる一方で、配水池や基幹管路などの情報は、テロの標的にもなりかねない。現場から新システムを閲覧する機能を設ける予定だが、現場での紛失や、情報漏洩が起きないように細心のセキュリティを図るよう提案した。

西区

山口 由美

tel./fax.078-777-6933
yamaguchi@yumiguma.com

幹事・会計

▲令和8年2月26日(木)
予算特別委員会
福祉局審査にて西区6歳児虐待死事件後の
福祉行政について

[山口] 事件の被告人たちは、本来支援を受けるべき人々でした。福祉局の受け止めは? [福祉局長] 痛ましい事件が2度と繰り返されないよう、行政や支援機関、地域の住民とともに、子どもと家族を見守り、支えることのできる地域を作っていかなければならないと思っています。

西区

山下 てんせい

tel.080-5341-3710 fax.078-961-3849
https://www.yamashita-tensei.com

監査委員

▲令和8年2月24日(火)
予算特別委員会
代表質疑にて

神戸市の財政力強化のために提言

会派を代表し、公共交通(地下鉄・市バス)の経営改善のため「交通広告収入が財務体制強化に資する水準になるよう、広告出稿に係るメディアガイドの改良や営業力強化」を、また認知症神戸モデルが持続可能な制度となるよう「成年後見制度における本人申立に関する啓発を進めるとともに、市長申立に係る体制の強化を図ること」等を提言しました。

質疑者

平井 真千子



▲令和8年2月24日(火) 本会議 代表質疑にて

持続可能なまちづくりについて

○ 新たな総合基本計画では「生活関連サービスを提供する市街地の比率を維持」という高い目標をかかげており、予算案ではその実行に向け、住宅地における店舗立地支援など既存市街地の人口流出を防ぐ施策が展開されている。これらの取り組みが効果的に進むためには地域ごとの課題に応じた施策をパッケージで実施することが重要だが、これから作成する「スポンジ化対策要綱」をどのように施策に活かすのか。

△ 【小松副市長】 まずは空き家が多く発生している現状や道路上検討の要因を分析した上で、必要な施策を体系化し、要綱として取りまとめる。その後、地域の特性に応じ、空き家対策や住み替え支援、地域の魅力の向上、住民サービスの維持、交通アクセスの改善などをパッケージにして取り組んでいきたい。スポンジ化対策を局横断的に取り組み、持続可能な都市を目指す。

質疑者

山下 てんせい



▲令和8年2月24日(火) 本会議 代表質疑にて

認知症神戸モデルの今後の在り方について

○ 平成31年より全国初の制度として認知症神戸モデルを開始し、現行の第3期では、認知症新薬への対応や行方不明対策の実施等新たな取組を行う方針が示された。一方、先日提出された包括外部監査報告書で、これまでの成果と費用対効果を検証し、市民理解を得つつ財源確保に努めるべきとの意見が付された。そこで市内外、特に転入をお考えの方への啓発と理解の促進に取り組むべきと考えるがいかがか。

△ 【久元喜造市長】 認知症の人やその家族を社会全体で支えるという制度の趣旨を理解をいただくため、出前トーク等で市職員が住民の皆様へ直接丁寧に周知を行う他、広報紙やホームページ、また認知症月間の9月にはデジタルサイネージやSNSなどを活用し広報を実施している。新しく入ってこられる方にどう理解を求めていくかは、なお工夫する余地があるかと思う。

質疑者

村上 たつま



▲令和8年2月24日(火) 本会議 代表質疑にて

KOBE◆KATSUの円滑な実施のための施策について

○ 生徒一人あたり月1,500円の支援を含むコベカツサポート・コベカツ支援基金の設置・移動支援実証事業・公共施設の利用料減免と優先利用など、我が会派の要望にお応えいただいたことを評価しているが、今後の課題は？

△ 【福本教育長】 令和8年9月開始予定のKOBE◆KATSUに向け、最大の課題であった活動団体の確保に取り組んできた。第3次募集までに約1,100クラブが登録され、多くの生徒が在籍校または近隣校で主要種目を選択できる状況が整いつつある。一方で、ニーズの高い種目では引き続き団体確保が必要であり、競技団体等と連携し対応していく。今後は生徒が円滑に移行できることが最も重要であり、教育委員会と学校が連携し、保護者への情報共有や個別の不安への丁寧な対応を進め、安心して参加できる環境づくりを進めていく。

令和8年3月12日 総括質疑

※一部要旨

1 観光施策の都市間連携

答弁…久元喜造市長

【吉田】 神戸空港は、神戸以西の観光需要の喚起が目的の1つとして国際化された。岡山市や広島市をはじめとする、11都市の議会で構成される「瀬戸内地域の観光を推進する市議会議員連盟」が設立されたことを契機に、より一層の都市間連携で神戸空港をハブとした周遊プランの造成に取り組むべき。

【答弁】 瀬戸内観光議連の発足を受けて岡山市と広島市を訪問し、観光の状況や広域連携の取り組みについて意見交換を行い、今後とも広域連携の観点から連携を進めることを確認している。陸・海・空の交通の結節点として、アクセス利便性の高い神戸が瀬戸内地域のゲートウェイとして主体的な役割を果たすとともに、各都市との連携の下、瀬戸内地域のプロモーションと周遊促進に取り組み、さらなる観光誘客につなげていきたい。

2 小学校給食無償化を契機に充実を

答弁…福本教育長

【吉田】 内容の充実として、地産地消やオーガニック食材活用の取組など、質の充実についての質疑に対して、当局からは多様な食材を使い、子どもたちの楽しみとなる魅力ある献立づくりに取り組むとの答弁があった。子どもたちが満足できる量の充実も重要であると思うが見解を伺う。

【答弁】 学校給食は文科省基準に基づき栄養量を確保して提供している。先生の裁量で欠席者分の余りを希望者に配分し、量調整可能な献立も増減対応しているが、残食率は約4%あり課題となっている。今後も成長期の子供の健康を踏まえた対応が必要である。

3 学習用端末のiPadへの更新

答弁…福本教育長

【吉田】 より良い学習効果が期待されるiPadの導入を、我が会派から提案してきた。導入されたiPadは直感的な操作、デジタルペンによる書き込み、性能が向上したカメラが利点だが、これらの効果を最大限に発現させる学習方法の確立が求められる。

【答弁】 タブレットは一斉型中心の授業から、個別最適な学びと協働的な学びへの転換を図る重要な基盤。次年度からは生成AIの活用も始まる。記述問題が豊富なデジタルドリルの導入を進め、学習用タブレットと併せた新たなコンテンツを活用し、授業・家庭学習を充実させていきたい。



▲令和8年3月12日(木) 予算特別委員会 総括質疑にて